

『小金井都市計画道路3・4・11号線』に関する意見交換会（第2回）

議事録（確定版）

開催日時：平成30年1月26日（金曜日）19:00～21:25

開催場所：小金井市市民会館「萌え木ホール」

出席者：東京都建設局道路建設部計画課 3名
東京都北多摩南部建設事務所工事第一課 6名
小金井市都市整備部都市計画課（オブザーバー） 2名
小金井市民
・公募による参加者 38名（5名欠席）
・自治会代表者 5名（2名欠席）
計 43名

傍聴者：31名

※音声不明瞭により聞き取れない発言については「・・・」と記載しています。

<議事録>

発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>皆様、こんばんは。定刻となりましたので、ただいまから小金井都市計画道路3・4・11号線に関する意見交換会、第2回を開催いたします。私は、本日の進行兼説明を務めさせていただきます、東京都建設局道路建設部計画課の今泉と申します。どうぞよろしくお願いいたします。（拍手）</p> <p>恐れ入りますが、座って進めさせていただきたいと思います。</p> <p>はじめに、会の運営についてでございます。会の進行につきましては、前方のスクリーンに映しております、次第に従いまして、進めさせていただきます。皆様には、貴重な時間を頂き御参加いただいております、また会場の時間も限られておりますことから、より円滑な運営を行っていきたくと考えております。従いまして、申し訳ございませんが、スクリーン上の次第におおむねの時間を、記載させていただいております。ある程度時間を区切って、進めさせていただきますので、御理解、御協力のほどお願いいたします。</p> <p>御発言につきましても、次第の2番、意見交換の場であればと思っております。なお、発言のある方はマイクをお持ちしますので、挙手いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p> <p>おおむね8時、午後8時30分、延長がございまして9時、午後9時までには終了させていただきたいと存じます。皆様の御理解と御協力をお願いいたします。</p> <p>次に、会場についてですが、会場内は禁煙となっております。お手洗いは会場を出まして左手奥でございますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に携帯電話につきましては、マナーモードに設定していただき、通話は御遠慮いた</p>

発言者	発言内容
	<p>だきますよう、御協力をお願いいたします。</p> <p>地震等、非常の際は、司会又は係員の誘導に従いまして、落ち着いて行動していただくよう、お願いいたします。</p> <p>また、開催状況を記録するため、議事の録音や会場内の撮影をさせていただきます。あらかじめ、御了承をお願いいたします。</p> <p>次に、本日の資料、配布資料についてでございます。御確認させていただきます。皆様には席上に資料の入った封筒を置かせていただいております。御確認願います。</p> <p>それでは、次第に従いまして、参加者の紹介にまいります。まず。</p>
参加者	ちょっとすみません。ちょっと質問があるんですけど。
今泉課長代理	御意見につきまして。
参加者	意見交換ではなくて質問です。
今泉課長代理	ええと。
参加者	始めるにあたっての質問です。
今泉課長代理	はい。
参加者	<p>よろしいですか。今回これ第2回の意見交換会というふうに印刷されてるんですけども、私の認識ですと、前回は意見交換会が成立してないので、前回は1回目としてカウントするのは適当ではないんじゃないかと、私は思ってるんですよ。で、現にですね、送られてきました、これ、議事録。未定稿版という形で、私ども委員に送っていただいたんですが、その中の35ページ。35ページの一番下のところの、徳差様の御発言のところですね、意見交換会は成立していませんと。このようにですね、発言が記録されている。であるならば、今回第2回目というのは、ちょっとそれは、おかしいんじゃないかなと思うんですけども。</p>
参加者	すみません、マイクを回してもらえないですか。
参加者	あ、申し訳ないですね。聞こえませんでした？
今泉課長代理	マイク、お持ちします。
参加者	よろしいですよ。じゃ、もう一度繰り返せばいいですか。
参加者	いえいえ、繰り返さないでも。

発言者	発言内容
今泉課長代理	よろしいですかね。
参加者	繰り返してくださいよ。
今泉課長代理	まず、今回第2回と称していただいておりますけども、まず第1回につきましては、確かに意見交換会については開催させていただいた。しかしながら、意見交換ができなかったというような位置づけだと認識しております。従いまして、今回2回という形で御案内させていただきました。
参加者	全然言ってることよく分からないんだよね。前回だって意見交換、成立してないと言ってるわけだから。で、なんで今回が第2回目になるんですか。
今泉課長代理	では、回数につきましては、ちょっと検討させていただきます。
参加者	検討って言うか、第2回について。
今泉課長代理	はい。ちょっと検討させてください。 恐れ入ります。今、御意見ではなくて、質問ということでございました。大変申し訳ございません。もし、御質問等がございます際には、次第の2番の方でですね、御発言いただければ、マイクもお持ちしますし、そのようなことでお願いできればと思います。
参加者	前提となることに関してはしょうがないです、それは。
今泉課長代理	はい、ありがとうございます。
参加者	会の前提の話をする分には、しょうがないと思います。
今泉課長代理	はい。それでは、ちょっと進行に移らせていただきます。まず皆様の出席状況でございます。50名中、今現在、36名の出席となっております。途中段階で、出席される方もいるかもしれませんので、その際には改めて触れさせていただければと思います。 続きまして、東京都の職員は前回と同様に、名簿どおりとなっております。座席表の前列の職員を御紹介させていただきます。 まず、建設局道路建設部計画課事業化調整専門課長の徳差でございます。同じく、計画課多摩計画担当の五反田でございます。続きまして、北多摩南部建設事務所工事第一課長の梅津でございます。工事第一課設計総括担当課長代理の深津でございます。同じく、環境対策担当課長代理の中島でございます。本日も、オブザーバーとして、小金井市役所の職員の方々にも出席を頂いております。 次に、主催者挨拶、第1回で頂いた意見に対する東京都の見解説明、小金井3・4・

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>1 1号線概要説明にまいります。</p> <p>改めまして、建設局道路建設部事業化調整専門課長、徳差でございます。本日第2回、まあ第1回になるかもしれないんですけど、ということでございますけども、非常にお寒い中ですね、出席いただきまして、本当にありがとうございます。で、前回ですね、参加者の皆様から頂きました御意見、御要望については、いったん持ち帰らせていただいたわけでございますけども、内部で確認を改めて行いまして、本日、まず最初ですね、それに対する都の見解という形ですね、お示しさせていただければというふうに考えております。その上でですね、意見交換会を、意見交換を進めさせていただければというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>まずですね、頂いた意見に対する東京都の見解ということで、ちょっと私の方で、スライドを用意しておりますので、そちらの方ですね、御説明させていただきますので、少し時間をいただければというふうに思います。10分程度になるかと思っておりますけれども、よろしく願いします。</p> <p>1枚目お願いします。第1回の意見交換会では、6項目について意見を出されておりました。これについてですね、これからちょっと私の方からですね、東京都の見解ということで、述べさせていただきたいと思っております。</p> <p>特にですね、1点目の、こちらですね。1点目の計画の見直しや廃止についてということに関しましては、前回、「事業ありきではおかしい」「見直しという選択肢を含めて会を行うべき」「必要性を議論する会と思っていた」など、計画や事業の見直し、廃止について意見交換をするべきとの、多くの意見を頂いております。これも含めまして、6項目についてですね、これから東京都の見解ということで、お話をさせていただければというふうに思っております。</p> <p>次、お願いします。1点目のですね、計画の見直しや廃止についてでございます。都の見解でございます。</p> <p>はじめにですね、都市計画道路は、都市を形成する最も基本的なインフラでありまして、重要な基盤施設でございます。東京都では、第四次事業化計画を策定しまして、今後10年で優先的に整備すべき路線を選定してございます。これについては、学識経験者の意見も踏まえた上で、都市計画道路の必要性の検証を行っております。</p> <p>で、小金井3・4・11号線については、地域の安全性の向上、災害時の道路ネットワーク機能の拡充、自動車交通の円滑化などに資するという事で、優先整備として選定されてございます。この路線の状況でございますけども、南北方向の広域的な道路ネットワークを形成する道路ということでして、当該区間、この3・4・11号線がですね、未整備という状況となっております。位置図を見ていただきましてですね、これが当該区間、3・4・11の部分ですけども、この都市計画道路ですね、甲州街道から五日市街道を結ぶですね、延長5kmのですね、府中東小金井線の当該区間は那の一部になってございます。で、この前後区間を見ますとですね、事業が進んでございまして、黄色はですね、現在事業中、青がですね、完成というところでございます。この区間、未整備ということで、いわゆるミッシングリンクとして残されているといった状況とな</p>

発言者	発言内容
	<p>ってございます。</p> <p>次、お願いします。続いてですね、周辺の交通状況など、ちょっと現状と課題なんですけども、1点目が、小金井街道や新小金井街道で渋滞が発生してございます。当該区間、これでございますけども、小金井街道と天文台通り、これが南北の道路としてあるわけなんですけども、この間がですね、約3.6kmということで、この区間にですね、完成した南北道路がないといったような状況となっております。で、これがですね、写真ですけども、前原坂上ですね。前原坂上ですね、渋滞状況を写したものですけども、ちょうどこの交差点になってございますけども、こういった形で、かなりの車列を呈していると。渋滞してるという状況でございます。</p> <p>で、2点目が、二枚橋の坂に交通が集中し、通過車両が歩行者、自転車と交錯する状況になっているということでございます。</p>
参加者	ちょっと、ちょっといいですか。これ、話、違うと思うよ。
参加者	違うよ。
参加者	全然違うよ。
参加者	結局、ここのさ、だましてる、意見に対しての都の見解を説明するというふうにして、あなた言い始めて、既に今、それじゃないことを言ってますよ。そう思いませんか？
参加者	そうだ。
参加者	その通り。
今泉課長代理	ちょっとまだ、説明が続きますので、ちょっと後ほど意見をいただければ。 (会場騒然)
参加者	それはおかしい。
参加者	やり方がおかしいです。内容が違う。
参加者	いやいや、話が違うことを言ってるから言ってるだけよ。話が違うじゃないですか。いい？ 第1回に頂いた意見に対する都の見解を説明するつって、今話し始めてるわけでしょ。
徳差専門課長	そうです。
参加者	うん。これはだからさ、意見、我々が前回言った意見じゃないですもん。ここに関し

発言者	発言内容
	<p>て言ってることは。</p>
参加者	<p>何の説明をされてるんですか。</p>
参加者	<p>前回こういう話はしてないですよ。</p>
参加者	<p>してないですよ、全然。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとまだ、あのう。</p>
徳差専門課長	<p>とにかく説明をさせていただきますか。 (会場騒然)</p>
参加者	<p>いやいやいや。</p>
参加者	<p>説明おかしいですよ、それは。</p>
参加者	<p>道路いらねえぞ。</p>
参加者	<p>ちょっとやり方汚いよ、それは。ちょっとこのプログラム、ちょっとずる賢すぎるよ。</p>
参加者	<p>うん、汚いよ。</p>
参加者	<p>おかしい。</p>
参加者	<p>いくらなんでもね、子供だましみたいなことやんなよ。恥ずかしい。あなたさあ、ちょっと恥ずかしいと思わない？ さっき言ったみたいにさ、結局、第1回か第2回か、それだったってさ、自分のさ、責任でもってはっきりできないようなさ、話の段取りの中で、ましてさ、いまさ、言ってることは、ね、ここの議事次第とかかけ離れたことを言い始めてます。そう思わない？ あなた正直だから、それ分かってると思う。</p>
徳差専門課長	<p>計画の見直しや廃止についての御意見がございましたので、それについて、都の見解を今説明してございますので、聞いていただければというふうに思ってるんですけども、よろしいでしょうか。 (会場騒然)</p>
参加者	<p>いやいやいや、ちょっと待ってください。ちょっと待ってください。 先ほど、一番最初に開会あって、参加者紹介あって、主催者挨拶あって、第1回で頂いた意見に対する都の見解説明という、この都の見解説明なんですか、これは。</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	はい。
参加者	何かいまの、小金井3・4・11号線の概要説明をやられているんですか。
徳差専門課長	違います。
参加者	概要説明じゃないか、これは。
徳差専門課長	そこのところを説明しないと、計画廃止についてのですね、都の見解は触れられませんので。 (会場騒然)
参加者	整備局を呼んでこいって言ったんですよ。要するに、じゃあ認めないという……。
徳差専門課長	だからそれも含めて今御説明差し上げますので。
参加者	それは違うって言ってんの。この説明は。推移が違います。明らかに。
参加者	住民市民の意見を交換する場をつくってくださいと。ね。そのためには、建設局だけじゃなくて、都市整備局の方も呼んでくださいと。私たちの意見を反映する場を保証してくださいと聞いたんですよ。この中身を説明してくださいって話をしたわけじゃないんですよ、我々は。だから第1回の意見に対する、東京都の説明には今なってないんですよ。違うことを話されてるってということで、今みんな怒ってるんですよ。
参加者	そちらの方も、さっきから挙手されてる方いらっしゃるんですけど。
今泉課長代理	御意見は、次第2で聞きたいと思うんですけど。意見の交換の場で。どうでしょうか。
参加者	いやいや、それは違うと思います。
参加者	だから違うと言ってるんだ。
参加者	違うことをやってるんだからね。
参加者	取りあえず、挙手されてる方の御意見聞いたらいかがですか。今、言われたいことがあるんですから、聞いたらいかがですか。
参加者	意見交換会だからね。

発言者	発言内容
今泉課長代理	次第の2番でございますけども、そこでは駄目でしょうか。
参加者	駄目です。
参加者	駄目です。
今泉課長代理	それでは（参加者）さん。ですかね。
参加者	<p>発言の機会いただき、ありがとうございます。今皆さんがおっしゃってるのと、私も全く同じことを感じているんですが、ちょっと、それに加えて、今、スライドで映されている資料が、ないんです。どうしてこれは、ないのでしょいか。ちょっと、そういうこと一つとっても、こう。この進め方に信頼をおけないのですけれども。どうしてここに、今、説明してる資料がないのでしょうか。</p>
今泉課長代理	<p>この今のスライドにつきましては、皆様にとっても重要な事項でございます。で、東京都の見解ということで、本日の意見交換会のこの場の責任者ということで、事業化専門課長の方から、直接御説明させていただくように考えまして、説明を始めさせていただきました。</p>
参加者	<p>直接説明はいいんです。私が聞いている質問は、その資料がなぜプリントされて配られていないのですかということです。なぜでしょうか。</p>
今泉課長代理	<p>そうしますと、ちょっと、本日はお配りするものを用意してないんですが、後日になりますけども。</p>
参加者	<p>今回したらいいじゃないですか。</p>
参加者	<p>それはまずいですよ。この場にはないとおかしいですよ、それ。</p>
今泉課長代理	<p>後ほど、後日になってしまうんですが、郵送させていただければと思っております。</p>
参加者	<p>いや、それは駄目ですよ。</p>
参加者	<p>すみません、どうしてこの場で。これは非常に今。</p>
参加者	<p>重要な話なのに。</p>
参加者	<p>重要な説明をということで、わざわざ、御自身で説明なさってるんだと思うんですが、</p>

発言者	発言内容
	その資料がないというのは、どういうことなんでしょうか。なぜ、それが後日という、その判断は、どうしてそういうふうに。その理由は何でしょうか。
徳差専門課長	まずは聞いてもらいたいということが、私の方から。スライドを用意しておりますので。
参加者	だったら資料用意すればいいじゃないですか。
参加者	それは全然、説明になってません。
参加者	ごまかさないでください。
参加者	手元に、当然これは、その資料があつてしかるべきものだと思うんです。どうしてそれを、お配りにならなかったのかなというか、なぜなんでしょう。ちょっと全く説明になってないんです。 重要なことであれば、なおのこと、きちんと配布をするべきじゃないんですか。
徳差専門課長	直接スライドを使ってですね、皆様にお示ししたかったということです。
参加者	いやいやいやいや。
参加者	それは説明になってない。なっていません。
参加者	字が見えませんよ。字が見えません。
参加者	あなたたちが書いたこの式次第、議事次第のね、この主催者挨拶の次に、「第1回で頂いた意見に対する都の見解説明」。それをやらなきゃいけないのにね、その次の、3・4・1 1号線の概要説明をあなたたちはしてるわけですよ。だから我々納得できない。前回の、議論の中で、出た質問に対する見解を述べてほしい。余計なことは言わないでください。 (拍手)
今泉課長代理	ちょっと見解を述べる中での必要事項だと捉えて今、スライドを用意しております、説明をさせていただければと思います。
参加者	そんなことを言ったら、全部になっちゃう。
参加者	前回の意見に対してっていうことなんですよ。

発言者	発言内容
今泉課長代理	ええ。まさに。
参加者	だからそれを、だから言えばいいわけです。今。
参加者	すみません。これを長々と説明されても、ちょっと違うんで、端的に、都市整備局をなんでここに同席させていないのか。
参加者	一つずつ答えてくださいよ。
参加者	事業ありきではなくて、ね。事業の可否、必要性について、それも議論をし、その必要性について、東京都はね、それを反映させるそういう場を設ける。こういうことを、やってくださいっていうふうに申し入れたんですけども。簡単じゃないですか。なんで都市整備局が、来てないか。
今泉課長代理	今、(参加者)さんから頂いたお話につきましても、後ほど、この見解の中で述べさせていただきます。
	(会場騒然)
参加者	いやいやいや。
参加者	それを真っ先にやらなきゃ。
参加者	順番が違う。
参加者	これ関係ないでしょ。
参加者	それを最初にやってください。
参加者	なぜ今答えられないんですか。逆に。
参加者	これやったら、次に説明する必要なくなっちゃうじゃない。その次の議題。同じことでしょ。
徳差専門課長	いや、違います。続けて説明させていただけないですか。
参加者	順番が間違ってる。順番が。
徳差専門課長	私の方も順番で説明してるつもりなので、御理解お願いします。

発言者	発言内容
参加者	いやいや、これ順番になってないですよ。
参加者	だって前は二枚橋の話なんてしませんでしたよ。
参加者	<p>だから端的に答えればいいじゃない。なぜ来ないの、今日？なぜ来ないんですか。教えてください。</p> <p>聞いたんですか、まず。都市整備局の方に。それを言ってくださいよ。こないだからの、この間のプロセス。どんなことを、我々の意見に対して、どんな手続をされたのかを確認したい。</p>
参加者	<p>前回あんでもめたんだから。もめたじゃないですか。答えになってないじゃないですか。全然。また同じ無駄な時間使うなら、もうやってる意味ないよ。またこないだの堂々巡りと同じようなことやらないでくださいよ。忙しい時間使って来てんだから。</p>
徳差専門課長	<p>見解をですね、説明するための重要事項と考えておりますので、それで今説明させていただきます。</p>
参加者	いやいやいやいや。
参加者	違う。違う。
参加者	<p>すみません。この1番についてのアンサー、回答はね、見直しをする気があるとか、廃止する気があるとかないとか、もうそれだけでいいですよ。私はそう思ってる。なぜこうなのか、ああなのかなんてことは、必要ないです。そういう質問なんですよ。中身をどうこうじゃなくて。だから、ああいう命題立てておきながらね、違う回答しようとしてるっていうところに、やっぱりちょっと、意図を感じてしまいますね。もっとシンプルでいいんだと思うんです。絶対見直さないとかね。</p>
今泉課長代理	<p>それではですね、ちょっとこう、スライドがちょっと順々に動くんですが、主な意見についての、都の見解というところで、簡潔に説明させていただければと思います。</p>
参加者	すみません。質問です。質問です。
今泉課長代理	後ほど頂くわけにいきませんか。
参加者	このときの宿題を6つぐらい書いてありますけど、そこ1回戻していただけますか。
参加者	そう。すぐ消しちゃう。

発言者	発言内容
参加者	<p>この中で、どれがまず僕らがこないだお願いしますとって言ったことかなという、どれですかね、皆さん。まず、5じゃないですか、一つは。 (拍手)</p>
参加者	<p>そうそう。</p>
参加者	<p>ね。それとか3の、知事の現場視察については、どういうふうに検討されて、どういうことになったのかというあたりが、一番、今日の前提として、必要なんですよ。だから東京都という主語が、東京都の単なる建設局なのか、東京都としてのちゃんと見解なのか、そのへんも前提が分かんないとちょっと、意見交換の前提をまず、前回からの流れで確認しませんか。</p>
徳差専門課長	<p>ちょっと1番のですね、計画の見直しや廃止についてのまず結論をまず。ちょっと順番にやらさせていただきます。</p>
参加者	<p>じゃ、なんでそれが都市整備局が、ここに来て語らないんですか、そしたら。建設局の仕事じゃないんでしょ、見直しとか、廃止とかというのは。</p>
今泉課長代理	<p>そのへんにつきましても、後ほど御回答できるかと思っております。 (会場騒然)</p>
参加者	<p>今回答すればいいじゃないですか。</p>
参加者	<p>前提になるほうからちゃんとやろうよ。</p>
参加者	<p>優先順位が全然違うじゃないですか。こちらが前回求めた優先順位と全然違ってるとですよ。</p>
参加者	<p>じゃあ今その説明聞きますけど、聞いて、聞いた結果で、意見交換会が成立したとか、説明はもう十分したとか、そういう話にはしないでくださいね。これは意見交換会が始まる前段階の説明として聞くっていうことなら、聞けますけどね。 今日はね、こういう不規則発言はしないで、とても冷静に、参加しようという決意で来たんです。どうしてこんな不規則発言をしなきゃいけないことになるのか、本当に納得できないです。とって今日は冷静にね、参加するつもりで来て、みんなそういう決意で来てたんです。 こんなね、なんか話聞く気もないみたいな態度で出る気はなかったんですよ。</p>
今泉課長代理	<p>それでは、じゃあ、ちょっと順番を変えさせていただきます。</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>今のスライド1番の結論を言わないと。</p>
参加者	<p>口頭だけでいいよ。スライドいらない。イエス、ノーだけ答えて。もう時間がない。</p>
参加者	<p>そうそう。イエス、ノーでいいよ。</p>
徳差専門課長	<p>まず計画の見直しや廃止について、今見解を御説明させていただいてますけども、その結論としましては、小金井3・4・11号線の整備を行うことは必要でありまして、優先整備路線から除外することとか、都市計画を廃止するという事は、東京都としては考えてございません。これが結論でございます。その必要性というところでですね、前段、私の方でですね、少し丁寧に説明をしようということで、していたわけでございます。</p> <p>スライド14。</p>
参加者	<p>はい、はい。ちょっと待って。今ね、結論出ちゃったよね。ということは、意見交換会ということは、成り立たないんですよ。意見交換会というのは、結論が出ちゃったらもう終わりなんです。それから先はないのよ。ね。判決を先に出して、それから議論するなんていうさ、裁判でないじゃないですか。(拍手)</p> <p>単純な話なんです。あなたは今さ、判決を出したわけね。なぜあなたが出せるのかどうか分かんないんですけども。取りあえず、で、その段階でさ、例えば被告、原告から、ね、いろんな意見聞いて、そんなことは無駄なことじゃないか。意見交換会なんだ、これは。</p>
参加者	<p>地元と言ってるのと違うんですよ。この前のね、市議会では、市長も、市の都市整備局長も、この意見交換会は、事業ありきだというふうには認識してませんと。こういうふうには明確に何度も答弁されたんですよ。事業を進めるための意見交換会ではないっていうふうに、小金井市長と、小金井市の都市整備局長は、議会で公式に答弁してるんですよ。</p> <p>そういうふうにあなたたちは、ね、市の行政に認識させてるんですよ。それなのに、今のやつは、今の話は、見直しの必要性がありませんということが結論ですと。これから先については、私たちが意見を言っても、ね、必要でない、必要であると、適当に言ってくださいと。一切聞く耳は持ちませんと。ただ皆さんの、憂さ晴らしをするために発言をさせるだけですと、こういう話になるんですけども。そういうことなんですか。</p> <p>で、そうであれば、やったということで次は、測量説明会にね、4月以降、入りますよと。で、事業認可の申請をして、国交省から事業の認可を受けますよと。で、都知事には、十分に、丁寧に、小金井市民については意見交換会の場を2回持って、で、全体でも体育館で説明会もやりましたと。ほかのところではやっていないようなね、非常に丁寧なことをやったんで、あとは進めるだけですと。こういうことを知事に報告されるわけですか。で、進めるんでしょ。そんなのは認められませんよ。</p>

発言者	発言内容
今泉課長代理	決してそうではなくて、丁寧に対応していきたいと考えております。で、来年度につきましても、事前に公募の際のお知らせにも記載させていただきましたが、継続的に、年2回程度と、当初考えておりますけども、この意見交換会というものを重ねていきたいというふうに考えています。
参加者	何のためにやってるの。ねえ。もう結論出てるじゃん。
参加者	何のための意見交換会なんですか、それは。
参加者	何を聞いてんですか。
参加者	都知事がね、丁寧にとおっしゃったというふうに聞いているんですが、皆様にとっては、丁寧にというのは、どういう解釈ですか。先ほど言われたような、まさか、都の計画を進めるのはその通りなんだけど、市民の、住民のガス抜きして来いと。これを丁寧にやれと言われたふうに解釈されてるわけじゃないでしょ。
今泉課長代理	いえ、決してそういうガス抜きとかですね、そういうわけではございません。
参加者	ねえ。それはおかしいよね。そうしたらあなたたちは、この丁寧についていうのは、何を丁寧にというふうに、理解しておられるんですか。
今泉課長代理	やはり、環境と景観。
参加者	環境と景観だけですか。それだけですか。
今泉課長代理	それら、皆様から頂く、頂けるであろう意見についても、対応できるものには対応していきたいというふうに、考えてございます。
参加者	結論が先に出てて、どうしてそこが対応になるんですか。
参加者	パブコメにもちゃんと丁寧に対応してよ。
参加者	そう。皆さん丁寧にやってんのね。何の反映もないわけですよ。検討もしてない。今度また、丁寧にと言ってるけど、何を丁寧にやろうとしてるのかってのは、我々には分からない。
参加者	あのね、今ね、徳差さんが、ね、結論おっしゃいましたよね。私非常にね、真面目な方だと思う。多分、本心を言われたんだと思う。それは御立派です。ただし、悪いけど

発言者	発言内容
	<p>も、その瞬間に、この意見交換会の当事者であるという立場はもうなくなりました。そうよね。だって、結論出しちゃったんだから。ということはだから、それが我々分かったから、何を考えたかという、都市整備局の方に、ね、声をかけたらどうですかということ、我々としては言ったわけですよ、前回。あなたたちは当事者になれないんだから。どう考えても。ね。建設局というのは。だから、助け船を出したんですよ。だからそのことを言ってください。要するに、都市整備局がなぜ出てこなかったかと。それ、非常に大事なことなんですよ。それとどういうふうな意見交換をされました？</p>
参加者	それをまず言ってくださいよ。
参加者	それ、お聞きしたいです。
徳差専門課長	<p>都市整備局も、今スライドに出てますけども、3・4・11は整備を行う必要があるということで、除外すること、都市計画を廃止することは考えていないということです。そのため、建設局主催ですね、この会は進めさせていただきたいというふうに考えております。</p>
参加者	ただその結論を出した本人たちが来ないと、意見交換会にもならないわけですよ。
参加者	それは分かるでしょ。
参加者	それは都市整備局に話をしたんですか。通した上ですか。通さない上ですか。あるいは知事にお話ししたんですか。
参加者	お答えください。
今泉課長代理	都市整備局には、お話をした上で、統一の見解を頂いています。
参加者	その統一の見解って言ってくれますか。なんて言ってるんですか。
参加者	あれです。1番。
今泉課長代理	今、画面というか、こちらのスライドにございます、優先整備路線から除外することや、都市計画を廃止することは考えてないと。
参加者	<p>ということはね、東京都は、ね、東京都。東京都ということだな。要するにだから市議会も、ね、市長も、我々も、結局すべてを無視した形の、結論を出しちゃいましたということですよ。</p>

発言者	発言内容
今泉課長代理	先ほどちょっと出た、小金井市さんの議会の内容については、若干御発言あったと思うんですけども、この第四次事業化計画につきましては、小金井市さんも参加してつくられた。ほかの市もごございますけども、協働でつくっている行政計画でございますので、そのへんの発言の真意というのは、我ら、ちょっと伺ってないんですけども、ちょっとこの場ですぐに確認できないと思いますんで、それは後日、確認させていただければと思います。
参加者	いや、ホームページに載ってますよ。市議会の議事録、もう出てますから。市長の答弁も、議事録に載ってますよ。インターネットで見れば。
今泉課長代理	去年の12月。
参加者	はい。12月議会。もう。
今泉課長代理	確定した答弁でしょうか。
参加者	いや、確定じゃないですけども。ではないですけども。
今泉課長代理	未定稿ですか。
参加者	うん。議事録としては公開されてます。 で、こういうことを聞いてるんじゃないんですよ。ね。都市整備局が、優先整備の第四次に入れたと。入れた当事者なんで、ここに来て、意見交換をしてほしいつってるんですよ。建設局というのは実行する部隊だから、ね。この路線を外すのがいいとか悪いとか、それは、判断する部署じゃないでしょ。都市整備局は、それを判断した部署なんで、ね、そこにもう1回考え直せと。私たちはこういう意見なんですよと。いうふうなことを言って、都市整備局が考えるかどうかは別にして、相手になるんですよ。で、相手になる部局を呼んでくださいつってんのに、なんで呼ばないんですか。この結論を聞いてるわけじゃないんですよ。
参加者	出るの嫌だって言ってるんですか。
参加者	ここに来てほしいつってるんですよ。
今泉課長代理	今ちょっと第1回と仰せさせていただきますけども、今回のこの計画の見直しや廃止という御意見については、都市整備局にもお見せして、その上で、こういった見解を今、示させていただいております。で、繰り返しになってしまいますけども、同様な見解だということに。で、今回、お伝えさせていただいてる。そんなところでございます。

発言者	発言内容
参加者	いや、分かってるんですよ。どういう見解かどうじゃなくって、なぜここに来れないのかと聞いてるんですよ。ここに来て、市民の声を聞いてほしいと。意見交換会なんだから、市民の声を聞いて、で、それをもう1回参酌する必要があるのかないのか、そういう見解を都市整備局に聞いてほしい。建設局というのは、聞いても、それに対して、もう1回考え直す部局じゃないでしょ、つってるわけ。
参加者	それはどうなんですか。
参加者	考え直すんですか。
参加者	考え直せるんですか。
参加者	権限あるの？
今泉課長代理	先ほど結論をお伝えした通り、建設局としても、見直しや廃止というのは、今考えてございませんので。
参加者	だったら意見交換会はするの。
参加者	考えることができる権限は持ってんですかって聞いてるんです。
参加者	権限。
参加者	建設局に。
今泉課長代理	権限と申すより、直接手続を行う局でないのは、確かです。
参加者	だからそれは整備局なんですよ。だから整備局の人に来てもらって私たちの意見を直接意見交換しましょうよというのが前回の私たちの要望だったんじゃないですか。だから別に、廃止の結論を持ってきてくださいつってるんじゃないですよ。ともかく来られて、意見交換を、権限の持つてる人たちも含めてやりたいというのが我々の希望だったんじゃないですか。それだけのことですよ。 (拍手)
徳差専門課長	都市整備局はですね、出席しないとさせていただきますので、ちょっとそのことをですね、今日申し上げた次第でございます。
参加者	え？ それはあなた方の話だけじゃないですか。 (会場騒然)

発言者	発言内容
参加者	えっ、それは話にならない。
徳差専門課長	そうしましてですね、16番。
参加者	挙手されているときはちゃんと司会指してください。
参加者	都市整備局は、見直しする権限があるでしょ。で、今東京都は、見直しについて、やろうということでやってますよね。市区町村に。ただし、優先整備路線を外すとかね、事業中も外すとかいろいろあるけども、とにかく都市計画道路の見直しを、これからやりますということで、市区町村と一緒にやってやる方向でしょ。
今泉課長代理	そうです。
参加者	で、その中に、これがね、入れられるのかどうか。我々も都市整備局に聞きたいんですよ。で、入れてほしいということを言いたいんですよ。優先整備路線に1回決めたから、もう絶対これは動かないなんていうね、そんな頑ななことじゃなくて、ね、もう1回、50年前に決めたけども、そういう事情のね、変更の中では、十分見直しなさいというのが国交省の方針でしょ。で、地元も、おかしいと言ってるわけだから。もう一度、都市整備局に、小金井のこの2つの路線については、見直してほしいと。で、見直しの中に、加えてもいいよということで、行政に、市にね、検討しなさいと。あるいは検討してもいいよということを言わない限りは、市としても動きようがないんで、都市整備局に来てね、決めたところ、決めたところに来てもらって、私たちの意見を伝えたいと。聞いてもらいたいってのに。建設局だけでね、主催したって話にならないんで。来ないって話じゃなくて、来てほしいってことなんでね。そうでない限りは、これは結局、今言われたように、決定しましたから動かしませんと。
参加者	意見交換会ではない。
参加者	これではね、私たちの思いや、小金井市のね、行政の方も考えてる、意見交換会とは全く異なる。そういうものですよ。
今泉課長代理	在り方検討の件だと、今の（参加者）さんの御発言だと思うんですけども、やはり、優先整備路線に選定されている路線は、今回の検討の対象にはなってございません。これは都市整備局も同じ考えです。
参加者	いや、だから、それを入れてほしいと。ね。
今泉課長代理	ちょっとお待ちください。先ほどから、（参加者）さん。マイク可能であればお願いで

発言者	発言内容
参加者	<p>きますか。</p> <p>すいません、(参加者)です。それで、徳差さん、これ、資料をコピーしてお配りにならなかった理由が、私、分かったような気がするんです。これを配って、するともう、この会の入り口でもう紛糾しちゃうから、それは避けたいという思いで、なされたんではないかなと私は徳差さんの心中を察するんですが、いかがでしょうか。どうですか。</p>
徳差専門課長	<p>そういうわけではないんですけども。そういうわけではございません。やっぱり直接私の口の方から。口で、スライドで説明したいということ。</p>
参加者	<p>いやいやいや。</p>
参加者	<p>でもこれは、都の立場の、考え方の、住民と立場の考えの違いはあるということ前提にしても、都として非常に重要な内容ですし、これを紙にして配らないというのは、都はやっぱり住民と協働して行政を成していくということに関して、強い不信感を抱いているのではないかなと、私はそういうメッセージを受け取ったんですが。</p> <p>だから、なんだろう。前回、この終わったあと、私、徳差さんに取材でお話をお聞きした際に、ボタンの掛け違いがあったけれども、私は道路は必要だと思ってるっておっしゃってましたよね。覚えてらっしゃいますか。</p>
徳差専門課長	<p>あったけどもとは言ってないですね。</p>
参加者	<p>いや、言ってます。</p>
徳差専門課長	<p>あったかもしれないけども、結果的にあったような、的な。</p>
参加者	<p>うん、そう。結果的に、ボタンの掛け違いだったと。それはおっしゃいましたよね。まあ、録音も残ってますから、それ聞けばいいんですけど。言ったんですよ。それで。</p>
今泉課長代理	<p>それ記事になってます？</p>
徳差専門課長	<p>なってます。承知してます。</p>
参加者	<p>それでね、そういう認識があるのであれば、こういうなんか、こう、技術を駆使して、無理やり話を進めるようなことは、なすべきではないと思うんですよ。この場は、道路つくってほしいと思ってる方も、当然、来てると思うんですよ。で、僕は道路は必要ないと思ってるけれども、意見交換をするからには、そういう賛成、反対のいろんな意見を突き合わせた上で、最も合意できるところ探っていくというのが、ベストなんじゃないかなと思ってるんですけども。少なくとも最初に、これ紛糾するかもしねえなっ</p>

発言者	発言内容
参加者	<p>て、考えてだと僕は思うんだけど、そういう配らないで、こういうふうに、大事なことから言って、その場でね。なんだろうな、手元に残らないような形で進めてくというのは、あのね、ボタンの掛け違い、結果的に、ボタンの掛け違いあったと思ってる人がやっちゃいけないですよ、それは。これ、さらに、このずれは深まっていきます。このままやっていったら。</p> <p>そうだ。 (拍手)</p>
参加者	<p>本当に、皆さん行政のプロフェッショナルで、ということは、当然住民との協働についても、その必要性はいくばくかは感じておられると思うんですよ。そこはね、だから、仮に説明したってことで既成事実を積み上げていくにしても、このやり方はひどい。そんなのでやったら、本当に都政に対する信頼を、本当になくしますよ。もう今だって、小池都政で大分がたがたになってるんです。皆さん、わざわざ一行政マンとして、その、あの緑の狸って汚い言葉は言いたかないけど、そういう、ね。行政マンの矜持、誇りがあるのであれば、本当にもっと丁寧に、賛成、反対、もっと、だから賛成の人がじゃあ、こういう道路が欲しいって気持ちよく言えるような、環境を整えないと、こんな、スライドで見せて、大事な思いを。だからスライドで見せたって、そんな詭弁使っちゃ駄目ですよ。ちゃんと最初に配って、それで紛糾するかもしれないけど、でもこうなんですっていうぐらいでないと。僕が指南することじゃないけどね、それも。とにかく非常に、行政は、住民を信頼してないんだなということを、私は感じました。</p> <p>それで、あとこれはもう一つ提案なんですけど、一応、もう、19時半は過ぎてますんで、もう意見交換の場にしてください。これ、もうこれ無理。こんな進め方で、なんか説明しようって言ったって、これは駄目ですよ。本当に必要だと思うのであれば、もう本当に、きちんとこう。もう批判覚悟で、きちんと手続踏むような形でやらないと。</p>
徳差専門課長	<p>一つ言わせていただいてもよろしいですか。ちょっと今スライドにも出てるんですけども、前回ですね、この計画の見直しや廃止ということに関連しまして、先ほど私、口頭で説明したんですけども、事業ありきではおかしいと。見直しをとという選択肢も含めて、この会の目的を変えてですね、やるべきだと。そういったようなですね、御意見を頂いてたわけですね。そういうところで、計画の見直しや廃止については、最終的には当然考えてないというところをですね、まず御説明した上で、それから今のちょっとあれ。もう一回出してもらって。</p> <p>で、当初私どもはですね、参加者募集の際にもお知らせさせていただいた通り、3・4・11号線は必要な、道路整備が必要な路線でありますので、環境や景観への配慮などについて、皆様の意見を伺いながらですね、進めたいということですね、改めてですね、今日はお示しするという意味でですね、このスライドを用意してございます。</p>
参加者	すみません。

発言者	発言内容
今泉課長代理	ちょっとお待ちいただけます？
徳差専門課長	従いまして、会の目的の変更ということをごすね。会の目的の変更ということをごすね、前回意見としていただいたんですけども、あくまでも建設局としては、環境への配慮、ということをごすね、皆さんの意見交換をしながらごすね、進めていきたいというところをごすね、考えてございますので。それを改めてごすね、今日御説明させていただいたと、いただくという次第でございます。
参加者	反対。
今泉課長代理	ちょっと(参加者)さん、お待ちいただけますか。 今の都の見解なんですけど、簡潔に1番から6番まで1回、御説明させていただくことでよろしいでしょうか。
参加者	だからひと言ずつ、口頭で言いなさいよ。スライドいらないから。
今泉課長代理	ちょっとスライドがないとごすね、なかなか後ろの方が見えなかったり。
参加者	そしたら配ればよかった。 (会場騒然)
参加者	それなら資料、ちゃんと作ってきなさいよ。
参加者	後ろ見えないよ。
参加者	フェアじゃないよ。メモを取ることもできないですよ。
参加者	速くて。
参加者	通常はさあ、スクリーンでね、見せてるね、スライドと同じものをプリントして、出すのが普通じゃないですか。フェアじゃないでしょ。
今泉課長代理	ちょっとじゃあ、1番から6番まで、簡潔に口頭で、ちょっと先に御説明させていただければと思います。
参加者	さっきの1番から6番のスライドだけ取りあえず出してもらえませんか。
参加者	項目？

発言者	発言内容
参加者	項目連ねた。
参加者	項目スライド。
参加者	それさえもまだメモできてないよ。
参加者	そう。もう。
参加者	それです。
徳差専門課長	一番の、続きになりますけども、計画の見直しや廃止についてですけども、そういったことでこの周辺状況ですね、交通面、それから防災面、それから特に生活道路への車両の進入といったところの課題がございますので、そういう意味では、その解消のためにですね、この道路整備が必要だというふうに、認識してございますし、それから環境への配慮という点については、特に崖線をですね。
参加者	どこに環境への配慮があるんですか。
徳差専門課長	崖線を横断する部分については、崖線にですね、影響を与えないように、崖線の上の方から、公園に向けてですね、橋梁形式でですね、構造を考えたいというふうに考えておまして、またついでにはですね、橋梁の下については、現在宅地化されてるわけですけども、そういったところに。
参加者	ちょっと待ってください。それ道路の説明になってませんか、事業の。
参加者	また始まった。また始まった。
参加者	なんで分かんないのかなあ。
今泉課長代理	ちょっと説明を。また、なるべく簡潔に。
徳差専門課長	簡潔にということで、説明を。
今泉課長代理	ええ。説明させていただければと思いますんで。
参加者	1はいらないですよ。2番からやってください。
参加者	もうさっき聞いた。

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>ということですので、先ほどスライドにありましたように、意見交換会の参加者募集のお知らせの際にもお伝えさせていただいた通り、環境や景観への配慮などについての意見を賜りながらですね、進めていきたいということでございます。</p> <p>続いて当初の都市計画決定手続ということでございますけれども、これも前回、いろいろな御意見あったわけなんですけれども、この道路ですね、昭和37年7月にですね、当初決定がされておまして、これは国において決定して、告示をしてございます。そのため、東京都としては、当時の法令に基づいて適切に手続されたものというふうに認識してございます。</p> <p>それから3番目の知事の現場視察についてですけれども、これは前回もですね、御説明させていただいてはいるんですけれども、状況を踏まえてですね、知事は判断するという形、判断するとしてございます。</p>
参加者	議会答弁と一緒にじゃないかよ。
参加者	それが知事の見解？
徳差専門課長	それから4番目のですね、国交省が発表した都市計画道路の見直しの手引きについて。これもいろいろと御意見がされたわけなんですけれども、これについてはですね、これはちょっとスライドをよろしいですかね。
参加者	いない。
徳差専門課長	文言書いてあるんですけど。
参加者	いない。
徳差専門課長	そうですか。
参加者	国が50パーセント支払うってのに、なんで国の言う通りやらないの。
徳差専門課長	<p>都においてもですね、これまでのですね、事業化計画、昭和56年から事業化計画をですね、策定してるわけなんですけれども、その中で、適宜見直しを行ってきておりますし、今回、四次計画の中でのですね、見直すべき路線ということで、9路線5kmをですね、掲げてございます。それからまた今年度からですね、事業中路線、それから優先整備路線を除いた、都市計画道路の在り方についてもですね、検討を開始しております。</p> <p>続いて都市整備局の出席については、そういうことで必要な路線ということで優先整備から外すとか計画を廃止ということはございませんので、今回については建設局主催というところで、都市整備局は出席しないと。今後も出席しないという形となっております。</p>

発言者	発言内容
	<p>ます。</p> <p>それから、6番目のですね、パブリックコメントについていろいろ御意見、御要望あったわけなんですけども、四次計画については、御案内の通り、幅広く都民の意見を聞きながら取りまとめたものでございます。で、この手法というのは、事業化計画の内容を周知すると同時に、都民の意見や提案についても把握するという事で、一般的に用いられている手法を使っております。で、頂いた御意見については、御意見、御提案については、それに対する考え方、対応についてということで、パブリックコメントの結果の概要として公表しておりますけども、この中で特にですね、自然環境、景観に対する影響を懸念をする御意見を多数頂いてございまして、これに対して、現地の地形、自然環境などを踏まえ、事業化に向けて適切に取り組んでいくとの考えをパブコメでは示してございます。以上でございます。</p>
参加者	ひどい。ひどすぎる。
今泉課長代理	<p>以上、ちょっと簡潔に説明すると、このようになります。</p> <p>で、ちょっと当初、次第ではですね、このあと映像等で御用意した概要説明にまいりたいというところでしたが、やはり皆様の意見もこの場で頂戴しましたので、ちょっと意見をですね、いただければと思います。</p> <p>ちょっと先ほどからですね、手を上げていただいている、ちょっと御指名できなかった（参加者）さんから。</p>
参加者	すいません。まず整備局の出席、しないということについてですね、これ、具体的にどこの部署のどなたが決定されましたか。
徳差専門課長	都市整備局都市基盤部街路計画課というところでございます。
参加者	いや、どなたが。
徳差専門課長	ここが所管になります。
参加者	はい？
徳差専門課長	ここが所管になります。
参加者	そこの課長さんということでよろしいですか。
徳差専門課長	そういうことです。
参加者	整備局と、上長の方がいらっしゃると思いますが、その方も全部ですか。例えば局長

発言者	発言内容
	さんだか何か知りませんが、その方もこれは御承認されてるという認識でよろしいでしょうか。
今泉課長代理	ちょっとお待ちください。上長ですか。上長？ 局長のことですか。
参加者	ちょっと肩書知りません。
今泉課長代理	失礼しました。都市整備局という局がありまして。
参加者	はい。整備局と建設の方と、またがった事案というふうに認識してますけども。
徳差専門課長	認識してるというふうに考えてございます。
参加者	所属、肩書とちょっとお名前聞かせいただきたいんですけども。
今泉課長代理	先ほど御紹介した街路計画課から、どこの幹部までの確認かというのは、我々もまだ聞いてございませんので。
参加者	え？
参加者	どういうこと？
参加者	じゃ、だれが了承したんですか、これ。
今泉課長代理	先ほど申し上げた街路計画課。
参加者	じゃあ、その方のお名前は？
参加者	課長？
今泉課長代理	街路計画課長だというふうに認識しております。
参加者	お名前聞いてるんですけど。
参加者	ちょっと関連して質問なんですけど。
今泉課長代理	ちょっとお待ちいただけますか。
徳差専門課長	澤井課長。澤井街路計画課長でございます。

発言者	発言内容
参加者	その方が決定されたという認識でよろしいですか。
徳差専門課長	そうです。
参加者	関連です。
今泉課長代理	そうでしたら、はい、どうぞ。今マイク、お持ちします。
参加者	その整備局の、今、名前を出していただいた課長さんに、説明されたこちら側、建設局の方は、どなたが説明されたんですか。この、前回の、第1回と一応言っときましようか。意見交換会の報告を、こういう意見が出て、やっぱ、強いこう、建設ありきでは意見交換会成り立たないんだという強い意向をですね、どなたがどなたへ。どなたへは分かりましたよね。どなたがお伝えになったんですか。
今泉課長代理	まず前回の意見交換会の内容につきましては、私の方からですね、私の方から、先ほどの街路計画課の課長代理にお伝えしまして、そこから上げていただいたと認識しております。課長に上げていただいたと。
参加者	そのときに、今回我々に配られた、議事録も、丁寧に伝わってるわけですね。
徳差専門課長	その通りです。
参加者	そうするとやっぱし、それも伝えて、御説明になってる、なんて言うんですか。そのこの雰囲気、意見の強さみたいなことが、きちっとやっぱ伝わんなかったというふうに思うんですけども。だからこそって言えばいいんでしょうか。整備局の方が直接ここに来ていただかないと、なかなか建設局の、説明だけではですね、中に入った形での説明だけでは、我々の気持ち、意見、今回の計画そのものについての強い、こう、まあ憤りも含めたですね、あれが伝わってないということと考えるんですけど、いかがでしょうか。十分伝えていただけたという自信がありますか。
徳差専門課長	はい。そうです。それで、都市整備局の見解ですけども、まず都としてこの路線のですね、必要性の優先度はですね、整理済みで、そもそも必要なプロセスを経てですね、時間をかけてですね、この第四次事業化計画の優先整備路線に決定、選定してあると。で、そういった中で、意見交換会というのは、個別路線のお話でありまして、これは明らかに建設局の担当だと。従いまして、都市整備局は出席はしないと。そういったような見解を頂いてございます。
参加者	いや、だからそれで、はい分かりましたでいいんですかって聞いてんですよ。

発言者	発言内容
今泉課長代理	先ほど、まず私の方から、都市整備局街路計画課の課長代理にお伝えしたと、お伝えしましたけども、やはり、議事録も当然お渡しして、その当日、11月17日の皆様とのやり取り、あとそれから雰囲気については、お伝えした上でのことです。
参加者	で、その整備局の、あそこに書いてあるように、出席ですよ。出席すら、する必要ないというふうにおっしゃってるんですか。
徳差専門課長	だから先ほど私が申しましたように、出席はしないと。個別路線の案件で建設局が、こういう形で。
参加者	それで皆さん方は、それで何とか意見交換会が成り立つというふうにお思いになってるわけですか、今。そのへんがちょっと、そのずれが、よう分からんのですけど。
徳差専門課長	やっていきたいというふうに。当初の御案内させていただいた通り、環境の配慮等についてですね、意見を頂きたいということで、やっていきたいというふうに考えています。
参加者	その上でもう、なんか結論ありきというふうに言ったらなんか、もう、終わりという感じが、しませんか。どうなんですか。何をしたいんですか、ここでそしたら、逆に。
今泉課長代理	その結論。例えば、先ほど申し上げた、結論。
参加者	ほかの方が質問していただいてもいいですし。
今泉課長代理	ちょっと、結論というのは、見直しや廃止は考えていないというところが結論であって、それが変わらない限り、この意見交換会を進めても意味がないという御意見ですよ、ね。
参加者	だから意見交換会というのは、僕らが前回、多くの方が、私も含めてですけども、要望として出したのは、この計画そのものが、まずいいのか悪いのかというレベルも含めて、意見交換をしましょうよと。賛成という人ももちろんいるでしょうし、反対という人もいるんだから、反対する人は意見を言っても意味がないっていうことだったら、意見交換会になんないでしょう。
参加者	そうだ。
参加者	そういうこと。(拍手)

発言者	発言内容
参加者	<p>で、そういう意見が出し合った中でね、どっかに着地点があるかもしれないけれども、まずは、もう見直し、見直しじゃないや、廃止なんかあり得ませんよと言ったらもう、なんなんですか、その人たち、そういう意見の人は、もう来ないでいいですよって、最初から言ってるじゃないかっていうことを言いたいんですか。</p> <p>どうですか。ちょっとおかしくないですか。どんな意見でも聞きましょうと。で、パブリックコメントを本当に生かしきれたかどうか、非常に不安な状況の中です、まだ、意見を強く持つて人たちの声をちゃんと聞きましょうと、受け止めましょうという姿勢で、意見交換会っていうのはつぐられないと、そういう意見はもう、この場では駄目ですよというふうに、切り捨てるような形で、そちらが望まれてたら、成り立たないんじゃないですか。</p>
参加者	<p>そうだ。</p>
参加者	<p>これマイクずっと持ってれば、ずっとしゃべりますよ。</p>
参加者	<p>しゃべって。</p>
参加者	<p>ちょっとほかの人もどうぞ。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっと1回、マイクを預けていただいてよろしいでしょうか。すみません。</p>
参加者	<p>マイクを。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ちください。</p>
徳差専門課長	<p>そういう意見を、再度内部で確認しまして、計画の見直しとか、そういったところはですね、議論する場ではないということ、確認、改めて確認して、今日は来てございます。</p> <p>従いましてあくまでも、当初御案内させていただいた通り、この崖線だとか、あるいは武蔵野公園、野川、こういったところの自然環境ですね。色濃く残ってる自然環境の配慮、それから景観への配慮といったものをですね、どういうふうにできるかというところを、皆さんの意見を聞きながらですね、進めていくということですね、会を設けさせて、そもそも設けさせていただいてるわけで、そこについては前回いろんな意見があったわけなんですけども、そのスタンスのところはですね、再度確認してですね、今日は臨んでございます。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ちください。先ほどから、ちょっと（参加者）さんの方が、ちょっと長く手を上げていただいているので、先にお願います。</p>

発言者	発言内容
参加者	<p>私は冷静な意見を、あの、申し上げます。今私はですね、このつまらん議論の中で、小金井市議会が出したですね、見直しを求める意見書を読み返しておりました。その中でですね、一貫して言ってることは、野川やはけのですね、重要性を言ってるわけです。そしてこれはね、小金井市だけでなく、都民にとっても貴重な自然遺産であって、今の3・4・11の計画をですね、見直しを求める。こういう論旨になってるんです。</p> <p>そこでですね、今、あなたが説明されたやつの1にも該当しますがけれども、一遍ですね、私の意見を述べさせていただきます。</p> <p>この野川流域というのはですね、日立の中央研究所から、釈迦に説法ですけど、深大寺のですね、植物園の下流までですね、広大な範囲がですね、昭和26年にですね、自然公園に指定されてたんですよ。それぐらいの認識です。これは都がやったんですよ。当時はですね、まだ朝鮮動乱の最中のですね、貧しい時代ですよ。そういう時代にすらすらですね、この自然が大事だから残していこうと。都庁はそう考えていた。ね、それが今のよう状況になってるわけです。</p> <p>その後ですね、確かに高度成長で、都市開発によって大きく浸食されまして、今御承知のような、武蔵野公園、野川公園、神代植物園。たったですね、そのへんだけが辛うじて、都立公園として今残っています。そこでしかしですね、大事なことがあります。武蔵野公園だけはですね、極めて特異な公園です。野川とですね、湿地、原っぱ、それにはけの森のですね、3つの生態系が複合してんですよ、ここは一体的に。そういう中でですね、極めて豊かな生態系が形成されている。このようなところはですね、野川流域にはほかにはない。東京都でも聞いたことがないですよ。そういうところです。</p> <p>そこではですね、極めて多様な、だから植物が育ち、その植物をですね、すみかや餌とするですね、多様な昆虫も生息しているわけです。したがってその昆虫もですね、餌とする多様な野鳥もたくさんいます。その最上位にはですね、皆さんのよく御存じの、オオタカとかハイタカとかですね、ノスリなどのですね、猛禽類がおるんですよ。あの狭い地域に。いかにここがですね、豊かな生態系であるかっていうのをまず、理解していただきたい。</p> <p>その上でですね、この数年、はけの森を調査してきたんですけど、野川ほたる村のですね、専門家がですね、調査して分かった結果をここで御披露いたします。野川の、いや、はけの森の野生植物のうち、日本固有の遺伝子を持つ在来種が86%。外来種が14%ということです。これは驚異的なことですよ。都市の中の空地などではですね、外来種が70%を超えてるのが普通だと言われている。そういうですね、貴重な生態系がある。そのことから言えることはですね、ここがですね、武蔵野の、それから日本固有の遺伝子のですね、保存庫となってるってことですよ。ここがですね、極めて重要だっということが分かんと思うんです。さらにここからですね、昆虫や野鳥が種子を運んで、拡散させますから。この周辺ですね、在来種率はですね、極めて高いという構造になっている。そういうことですね、遺伝子の供給基地にもなっている。そういう構造があります。</p> <p>そういうことですね、私たちはですね、市議会ももちろんですよ。こういうですね、重要な地域である。それからですね、微妙なバランスの上にこういうのはできてんです</p>

発言者	発言内容
	<p>よ。猛禽類はですね、何種類も何羽もですね、あそこに、はけの森とですね、それから I C U の森のあの狭い範囲におるということが、どれだけですね、生態ピラミッドの下が裾野が大きいかということです。そこにね、道路をつくってどういうことになりますか。貴重な生態系をですね。これは壊すということになるんですよ。それは一度壊したらですね、再生できるような単純なものではありませんよ。私たちはですね、あなた方も当然ですよ、この貴重なはけの森をですね、保全して、次の世代にですね、引き継ぐという責任がある。私たちには。あなた方もそうですよ。(拍手)</p> <p>そういうことですから、道路を建設することとですね、あなたが今言ったような、このかけがえのないですね、はけの森をですね、保全することとは、両立することはあり得ない。(拍手)</p> <p>そういうことですから、全面的にですね、道路計画の見直しを求めます。以上です。(拍手)</p>
今泉課長代理	ちょっとお待ちいただけますか。
梅津課長	すみません、梅津でございます。今、貴重な生態系というお話が出て、はけの湧水、それが源となっているというお話なんですけども。
参加者	そんなこと言っとらん。
梅津課長	基本的にですね、今、パンフレットの裏にちょっと記載をさせていただいてますが、現在、崖線部、そこは橋梁形式でですね、その他は平面構造の案。これを今回提案させていただいております。で、はけの。
参加者	斜面だけで、はけは形成されてるんじゃないですよ。
梅津課長	はい。で、はけの湧水、野川の保全、生態系の保全に関する御意見というのは、これまでもたくさん頂いているので、崖線部をですね、このような橋梁形式にすることによって、湧水の、源となっているですね、武蔵野礫層ってあるんですけども、ちょっとスライドの 53 ページ。
参加者	いや、みんな分かってんだよ。
参加者	分かってるよ。
参加者	説明いらないから。
梅津課長	53 ページ。

発言者	発言内容
参加者	時間の無駄だからやめてくれ。時間の無駄だから。
梅津課長	これがですね、はけのイメージ図なんですけども。
参加者	おーい。
参加者	掘ったら、今。そしたら。
参加者	消せよ。
梅津課長	今ですね、武蔵野礫層、あそこで。
参加者	そんなん聞いてないんだからさ。
梅津課長	上になってる崖線の部分の関東ローム層、で、その下にですね。
参加者	ちょっと止めてください。止めてください。その説明はいいです。
梅津課長	あの、武蔵野礫層があるんですけども、この水の。
参加者	それはもうみんな知ってますから。 (会場騒然)
梅津課長	水脈の流れを阻害させないような形でですね、検討をこれからしていきたいと思っています。
参加者	ちょっと止めてください。勝手にちょっと説明始めないでいただけますか。
今泉課長代理	ちょっといったん説明させてもらって。
参加者	いや、やめてください。
参加者	いやいや。 (会場騒然)
参加者	残り時間が少ないからね、参加者の多くの意見を聞いてくださいよ。そのための会議でしょ、今日。
徳差専門課長	(参加者)さんの先ほどの情報というのは、すごく貴重で、逆にそういう情報提供を

発言者	発言内容
	<p>ですね、この意見交換会の場で頂きながらですね、それを基に私どもも環境調査なんかやりたいと思ってるわけですよ。ですから、まあそういったことを。 (会場騒然)</p>
参加者	結論が出てて、それやってどうするんですか。
参加者	環境調査やったら道路いらないうって結論もあるよ。
参加者	マイクを貸して。議事録にきちっと残さないよ。
参加者	手を上げてるよ。
参加者	あのね。
参加者	手上げてる。手上げてる。
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ちください。じゃ、ちょっと1回、(参加者)さんお待ちいただいて。それじゃ、(参加者)さん、よろしいですか。ちょっとマイクをお願いします。</p>
参加者	<p>いろんな活動をされてる、なんかすごいお歴々がいる中で、手を上げるのちょっとあれだったんですけど、議事録に残るなら言っておきたいと思って、もうそもそも縦割りがいけないんじゃないかなと思うんですね。環境とか、そのはけの自然を分かっている部門と、この建設のところと、あと都市道路を決定したところの都市整備局と、部内の決まったものを、都の決定事項を覆せないから、きっと板挟みで、そこに座ってる方々も苦しいと思うんですね。</p> <p>前回も、ね、違うとこ出てこいって言われたのに、もう一回今日来るのってすごい嫌だったと思うんですけど。多分、なんかその、はけの環境とか緑地保全とか結構都のホームページを見ると、すごくアピールしてくれていて、それをなんでこうするんだらうってすごい不思議に思うんですね。で、すごく言いたいのが、小池さんが豊洲とかみんなの党とか、今イメージダウンしてるので、そこに比べたらすごく小さな問題なんですけど、小金井に関してはもうその縦割りを取っ払って、ちょっといろんな部門が出てきて、その道路をもう、いるのいらないうとか、多分もう30年後できるぐらいって、きっと災害のなんか規模とか、ドローン使ってとかも違うと思うんです。道が渋滞とかって話はないかもしれなくて、もうそこから掘り下げてみんなで意見を交換しましよって言ったら、すごく先進的で前向きな意見が出たりとか、するんじゃないかなと思うんですね。(拍手)</p> <p>で、私みたいな、ふらっとうんてん申し込んだ市民は、あのやり方だとテクニカルすぎて、まんまと説明をうんうん聞いて、で、意見交換の部門になって、ちょっと自分で反対ですとか言って、ちょっと言って。でも賛成とか災害とかいろんな人に言われ</p>

発言者	発言内容
	<p>て、あ、そうなのかなみたいになって。こう素人ならすぐいける、丸め込めますけど、小金井の人たち説得するのは、多分部内を、都の内部決定を覆すより面倒くさいと思います、こっちの方が。で、小池さんは多分現地を見てないからなんじゃないかなって、私は優しく思ってるんですけど。本当に知っててこうなってるのか、なんだろうこう、一回こうちゃぶ台をひっくり返せる人に、ちょっと話を聞いてほしいし、現状を知ってもらいたいと思ってます。以上です。(拍手)</p>
今泉課長代理	<p>ちょっと、次の御意見をお待ちいただけますか。</p>
徳差専門課長	<p>知事の話が出ましたけども、先ほどもちょっと、御説明しましたけども、状況を踏まえて判断するという形になっておりまして、で、この意見交換会の様子、状況っていうのは、知事は把握してございます。</p>
参加者	<p>あと、すいません、もう1個、橋の話をいつもするし、その川のところをワープすればって言うんですけど、ワープするこの橋脚を建てると、そもそもすごくこう掘るし、はけの湧水とか地下水の水脈をも変えてしまうので、そこをワープすればいいという話でないから、みんなはそこで、その話は聞かなくていいと言ってるんですよ。環境保全、ここだけの話じゃないんですよ。遠くの全部が影響するので、それでみんなが聞かなくていいなと思ってるんです。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっと、じゃあその御意見について。梅津の方から。</p>
梅津課長	<p>再度、もう1回だけ説明させてください。こちらですね。 (会場騒然)</p>
参加者	<p>いいよ。</p>
参加者	<p>いいよ、その説明。</p>
梅津課長	<p>水脈がですね、あそこの茶色い武蔵野礫層というところが、7～8m厚さがあるんですけど。そこを。</p>
参加者	<p>余計なこと言いました。すみません。</p>
梅津課長	<p>そこをですね。</p>
参加者	<p>みんな分かってんだよ。</p>
梅津課長	<p>水脈を阻害させない形で橋台をつくるということが可能でございまして。</p>

発言者	発言内容
参加者	どこかに橋台はつくるんだから、意味ないですよ、それ。
参加者	そこだけの話じゃない。
参加者	そういう次元じゃないじゃないですか、今。
梅津課長	今後ですね、その構造位置を、水脈に影響しない形でつくらせていただきます。
参加者	・・・なら誰だって言えますよ。あなた、どうやって責任取るんですか。
参加者	じゃあ、こんな立派なこと分かってんなら、私たちの意見聞かなくたっていいじゃん。自分たちで全部やれるでしょう。
梅津課長	今ですね、都ではですね、既往の地質データとか、地下水データ、それを豊富に保有しているとともにですね、必要に応じたボーリング調査もこれからさせていただきたいと思ってます。
参加者	いや、そういった内容を今説明する場面じゃないでしょう。
参加者	無理くり聞かなくていいの。無理くり説明してる。
参加者	<p>意見交換会の位置づけと、今後東京都の方が、ね。見直しはしません。廃止はしませんという意見、結論を、一切変える気がないというような人たちと、私どもどういふふうにな、接していったらいいのかと。その話じゃないですか。内容のことはそのあとですよ。あなたたちが、建設局としては、当然行政の一部署ですから、この場ではね、いや皆さんとの意見交換でもっともだなあ、と思つたらば、上に上げて、見直しもあり得ますよというような発言ができないことはよく分かりますよ。だからこそ、そういった判断ができそうな都市整備局の方の、責任ある担当者をね、次回は呼んでくださいというのが前回の要望だったんですよ。</p> <p>それも今回はね、内部で話し合った結果、出ない。必要がない。なぜならば、意見を聞いても、見直しをするつもりはないからだというのであるならば、見直しの権限ができる、判断できる人に来てもらうしかないですよ。それは誰か。それは、都知事なんですよ。都知事には、こういった状況を説明して、よく理解している。そんなことは考えられないですよ。なぜかと言えば、我々の話聞いてないんだもん。あなたたちの方の立場でもって、都知事に説明してるだけ。情報が偏ってれば正確な判断できないですよ。だからこそ都知事に、現場に来てください。現場を見てください。反対してる住民の、こういった考え方、中には賛成の方もいらっしゃる。ね。親しく接してね、意見交換をしてくださいということをお私ども望んでるんじゃないんですか。今ここで技術的なこと</p>

発言者	発言内容
	<p>をね、説明をしたって、それは違うでしょって話になりますよ。あなたの熱心なことは、前回のときにね、もう説明しようとしたことによってよく分かりますけども、今このタイミングじゃないでしょ、それは。説明するのは。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっと、手を上げている、私、覚えました。ちょっとお待ちいただけますか。</p>
徳差専門課長	<p>ただこの、環境に配慮した方策として、橋梁形式というのは、やはり言いたかった事項、前回もそうなんですけども言いたかった事項だったんですよ。 で、そういったところをですね。</p>
参加者	<p>子供じゃないんだから。</p>
徳差専門課長	<p>そういう目的。</p>
参加者	<p>言いたかったとか、言いたいとかって、今そこの議論をしてるんじゃないでしょう。</p>
徳差専門課長	<p>で、だから今ちょうど環境の話になりましたので、申し上げたわけです。</p>
参加者	<p>いやだから、そこの話だけでしょう、今するのは、すべきなのは。私たちのこういった真摯な切実なね、意見を受け止めて、ね、見直しもあり得ますよっていうふうに、言ってほしいんですよ、私たちは。最後、でも結果的にはね、やっぱり見直しは無理ですってことは、それはあるかもしれません。だけれども、意見交換会の冒頭から、廃止考えておりません。見直しは考えてないです。それが結論ですと言われたんじゃ、我々の意見交換なんてのは空しいですよ。 <p>だけどあなたたちはそれを判断できない部署であるだったら、それはそれでやむを得ない。判断できる部署はどこですかと、先ほどから繰り返し皆さん聞いてるじゃないですか。都市整備局でもなければ、あとは政治家ですか。トップですか。だったらばトップと私どもの話をするような機会をつくってくださいよ。</p> </p>
徳差専門課長	<p>ですから、都市整備局と確認して、見直しはしない、廃止もしないということ、今日お伝えしたところでございます。</p>
参加者	<p>いや、私の言ってること、全然あなた理解してないじゃないですか。 だから行政部署が判断できないんだったら、判断できる人と私ども、話し合いできる機会をつくってくださいって今言ってるんですよ。</p>
参加者	<p>そう。話し合う機会です。結論じゃないです。</p>
参加者	<p>ほかに発言したい人もいるので、司会の方、しっかりちゃんと、ね、声が大きい方だ</p>

発言者	発言内容
	けなんでね。
今泉課長代理	はい。ちょっと、先ほどからちょっと後ろで、手上げられてて、まだ発言いただいてない、(参加者)さん、よろしいですか。
参加者	さっき覚えましたって。
今泉課長代理	もちろん、覚えてます。ちょっと先に。まだ発言いただいていたんで。
参加者	12月20日付で、小金井市議会議長から東京都の方に、都市計画道路小金井3・4・1号線、小金井3・4・11号線が整備計画の見直しと意見交換会のあり方の改善を求める意見書が出されています。全員一致で、採択された小金井市議会の意思です。これを無視するのでしょうか。この扱いを教えてください。
今泉課長代理	意見書については、我らの手元に届いておりまして、拝見しております。ですが、本日御説明させていただいた、先ほど簡潔に御説明してもらいましたが、見直しや廃止については、考えていないというのが、端的に言うと、我ら東京としての結論であり、もう1点、意見書にもございますが、都市整備局も交えて話し合いをとるところにつきましても、先ほどから都市整備局との共通認識の下でお伝えしてるところでございますが、この意見交換会については都市整備局は出席しないという確認を取っております。
参加者	無視するという。一言で言うとね。
参加者	無視するんですか。
今泉課長代理	いえ。先ほどお伝えした通り、確かに受け取っておりますので、改めてこの場で繰り返しになりますが、見解を述べさせていただくと、その通りになると。
参加者	私たち小金井市民の意見、総意です。市議会は、市民の代表なんです。選挙で選ばれた。その市議会議員全員一致した意見なんです。どうしてそれを無視することができるのでしょうか。どんな権限があるのでしょうか。教えてください。
今泉課長代理	ちょっと、私、先ほど繰り返したように、無視はしておりません。で、確かに頂いておると。ただ都の見解としては、先ほどからの繰り返して申し上げている通りな内容だという御回答になってしまいます。
参加者	それを無視って言うんですよ。

発言者	発言内容
参加者	それを無視って言うの。
参加者	受け取ったということね。
参加者	都じゃなくてあなたの見解じゃないの。
今泉課長代理	いえ、本日、先ほどから御説明してる都の見解については、私個人の見解ではございません。組織としての見解でございます。
参加者	組織の回答なんでしょ。
今泉課長代理	恐れ入ります。ちょっと先ほど、手を上げていただいた、(参加者)さん、よろしいですか。
参加者	皆さんがはけの環境とか、生物多様性とか大きな話をしてるときに、本当に申し訳ないんですけども、私は家をすっぽり道路に取られる方の人間なんですけど、人の生活を壊してまで、つくる必要性、道路をつくる必要性、見直し、廃止をしないという、その、道が混んでる。ここの混雑が大変だからとか、そういうふうな理由程度で、何軒もの家をつぶして、人の生活を破壊して、つくる必要性があるかどうかということについても、整備局の方からお話をいただければ、少しは納得ができるのかなと思って、是非整備局の方に来てほしいなと思います。(拍手)
徳差専門課長	事業についてはですね、今後事業化という形になった時点です、地権者の方には、十分御説明させていただきました、移転だとかそういったのを、あるいは用地取得を余儀なくされることがあるわけなんですけども、そこは。
参加者	すみません。それは変わらないという前提で説明に来るわけですよね。
徳差専門課長	その段階ではですね。で、その段階で、できるだけ御協力、御理解を頂きながらですね、進めていくということです。
参加者	そういう説明ですよね。
徳差専門課長	はい。そうです。
参加者	協力しろということのための説明であって、どうして我々が生活をあきらめなきゃいけないのか、そこをまず説明していただかないと。それが大前提なんじゃないかと思うんですけども、どうでしょうか。(拍手)

発言者	発言内容
参加者	<p>そうだ。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっと今の。じゃあマイク。ほかに発言されてない方で、じゃあちょっと先によろしいですか。(参加者)さん、どうぞ。</p>
参加者	<p>道路をつくる、必要だということの課題があるから、この道路が必要だという論に対してなんですけれども。この前、この前と言うか、今雪が降って、結局、車が最初通れないときって、やはり結局徒歩で。災害のときはなんかもう、結局徒歩で歩ける距離に、避難所があればいいわけで。避難場所とかいろいろあるわけで、3.6メートルないからつくらなきゃいけないっていう発想はなくて、その中心から見れば1.8メートル。ごめんなさい、1.8キロあれば、人の足ではだいたい30分ぐらいで歩けるので、3.6メートルあるから必要だっていう議論は、全然おかしいと私は思っていて、ここにある課題を、道路をつくらなくて解決できる手法を考えればいいと思うんですよ。(拍手)</p> <p>この課題があるから、道路が必要じゃなくって、こういう課題はあるけれども、これだけ大事な自然があるんだから、それを守って、なおかつ道路をつくらなくてこの課題が解決できる手法を皆さんで考えましょうっていう説明会をしてくれるのであれば、私たちはいろんな意見を言いたいと思いますけれども。だから、そういう意味で、道路ありきの説明会じゃない説明会って言うか、意見交換会をしませんか、という提案をちょっとさせていただきます。(拍手)</p>
徳差専門課長	<p>先ほど私の方でスライドで説明した3.6キロという、これはお手元のパンフレット、リーフレットにも書いてあるんですけども。ここは南北道路が不足してるってことで、交通の円滑化という観点からの説明になるわけなんですけども、今、避難云々という話ですけども、そもそも小金井公園とですね、武蔵野公園がつながるとい形になりますので、格段に防災性の強化になるというふうに考えておりました。</p>
参加者	<p>いやいやいやいやいや。</p>
徳差専門課長	<p>そういうところでですね、この道路の交通の円滑化と、それから防災面、そういったところでですね、この道路については、必要性の確認をですね、しているというところで。そのために。</p>
参加者	<p>私たちは確認してないです。必要性を。</p>
徳差専門課長	<p>そのために。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ちいただけますか。説明してますので。</p>
徳差専門課長	<p>必要性の確認をすると。</p>

発言者	発言内容
参加者	あなたたちが勝手に、確認したって言ってるだけです。私たち確認してないです。
参加者	そうだね。そうだ。
参加者	そうだ、そうだ。
参加者	誰のためにつくるんだい？
参加者	55年間もね、今の状況でやってきたんですよ。
参加者	既成事実のようにスライドやってるの、消してよ。
参加者	ちょっと、私も意見言わせてください。
今泉課長代理	ちょっと待ってください。(参加者)さん、先ほど手を上げてましたけど。じゃあ先に。後ほど、その次という形でお願いします。
参加者	<p>私もこの計画があると、立ち退かなきゃいけない人間なんで。ちょっと聞きたいんだけど、前に並んでる方は、道路ができる街並みを御覧になりました？ なってますか。東町郵便局から道路が抜けるまでに、この5年間にどんだけ新しい家が建ったり、建て直したか見ましたか。あそこにお墓があるのも知ってますか。それも見ないでね、立ち退く方はあとの話でやらせてもらいます、違うでしょう？ 私だって小金井来たときにね、野川公園があるから引っ越してきたんだよ。で、子供はあそこで遊ばせる。自分が年をとったら、あそこで緑を楽しめる。こうやって東小金井に移ってきたんだよ。もう35年もあるよな。そして、子供たちは、故郷なんだよ。庭には死んだおふくろが植えた木があるんだよ。そういう現実。それから先祖の土地を守ってきた人がいっぱいいるわけだよ。そういうのを考えないでね、簡単にね、立ち退く方は、あとで話させていただくじゃ済まないんだよ。実際もし立ち退くとしても、なぜ立ち退かなきゃいけないか。東京都民のためになるのか、ならないのかも含めて、もっと話聞きたいわけ。だからあなたたちが決まったから、それで終わりですじゃ困るんだよ。立ち退くにも立ち退けねえよ。もしそうなったとしてもな。だから呼んできてくれって。みんなも言ってるんじやねえかよ。なんで呼べねえんだよ。おかしいだろ。答えられねえんだろ。そんな答えじゃ、満足しねえぜ。(拍手)</p> <p>まして立ち退くのによ、今度できた道を、どう自然を守るんでしょ。立ち退く人間がなんでそこまで考える。意見交換っていうのは、そういうのも含めて、こうやったらどうですか。みんなが言った通りだよ。こうやったらどうですかって言うための意見交換なんだろう。何回も何回も同じこと言わせないでくださいよ。あんたたちの家だって、もしそうなったらどうすんだよ。以上です。(拍手)</p>

発言者	発言内容
参加者	異議なし。
今泉課長代理	御意見として、承りました。ちょっとお待ちください。先の、(参加者)さん。よろしいですか。ちょっと、前の方、マイクを。
参加者	<p>私も、何の見通しも立てずに50年間放っておいたということが、どうしても納得できないんですね。そのころ、7～8軒しか家がなかったんです。だったら早くつくればよかったじゃないですか。こんなに影響が、受けなくて済んだと思います。</p> <p>私は小学生で来て、今孫が4人もいるおばあちゃんです。その間、何の説明もなかったじゃないですか。それに、なんで建設の許可を出すんですか。ああ、いいですよ、家建てて。で、2～3年後に、道路になりますよ。どいてください。あんまり理不尽だと思えます。小金井市に伺っても、さあ、あそこはできないんじゃないんですか。何の見通しも立ててくれないんですよ。どこへ聞きに行ったらいいんですか、私たちは。北南建の方は、幹線道路の整備がもう終わったから、今度はここの番ですよ。そこまで私たちが調べないと、家を建てられないんでしょうか。何か付度しないといけないんでしょうか。どこへどうやったら私たちは、安全に家を建てることができましたんでしょうか。だったら許可出さなければいいじゃないですか。(拍手)</p>
参加者	そうだ、そうだ。
参加者	以上です。
今泉課長代理	<p>今の御意見につきましては、東京都としてはですね、過去3回にわたって、今現在は第四次事業化計画と称するものですが、過去、3回にわたって事業化計画を策定して、計画的、効率的に都市計画道路の整備を行ってございます。今(参加者)さんの御意見にあった通り、50年もの時間を要していることについては、大変申し訳なく思っているところでございます。50年前と状況は変わっていると、おっしゃるとおり思うところですが、現在でも、本地域についてはですね、交通面、安全面、防災面の課題があると、都としては認識してございまして、本路線の整備をする必要があると考えてございます。</p>
参加者	そこが疑問なんです。だから議論しましょうと言ってんだけど来てくれないんだねえ。
参加者	はい、いいですか。
今泉課長代理	ちょっと、(参加者)さん、お待ちください。先ほど後ろの方で、手を上げていただいた、(参加者)さん、よろしいですか。

発言者	発言内容
参加者	<p>先ほどから、いろいろこの道路が必要だってこと前提で、いろんなお話をされておるんですけど、我々住民はですね、本当に必要だと思ったら、それはみんなやっぱりつくってくださって言いますよ。今、都が説明されてる中の渋滞の問題とかね、それから防災対策だとか、そんなことを、要するするために、これだけ大きな犠牲を払ってやる必要があるかということで、疑問を持ってんですよ。だからみんな分かってんですよ、都の説明の、されてるようなことは。でもどこに、それだけの渋滞がありますか。で、防災って言ったら、今決められている避難地域って皆徒歩で行くところですよ。何のためにこの大きな環境犠牲、莫大な費用を使う、住民の犠牲を払う。どうしてこんな道路があるんだろうかと。ここに疑問を持ってから、これだけみんな反対してるんです。ですからそこのところの議論を、きちっとできる場を設けてくださってのが、我々住民のたつての希望なんです。是非、そういったお願いします。(拍手)</p>
参加者	<p>そうだ。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとこのへんは繰り返しのになってしまいますので。</p>
参加者	<p>いい。繰り返さなくて。いいよ。</p>
今泉課長代理	<p>我々とすれば、お手元の資料にある必要性について述べさせておりますけども。</p>
参加者	<p>だから納得できないって言ってんじゃない。</p>
今泉課長代理	<p>それについて、に尽きると考えてございます。 ちょっとお待ちください。それでは、あとちょっと、まだ御発言いただいてない、(参加者)さん。中央にマイクお願いします。</p>
参加者	<p>東京都の、今日出席された方の説明を聞くと、私たちの意見を聞いているんじゃないくて、東京都の説明を、私たちになんか押し付けているという感じがするんですね。(拍手) で、私たちは本当に、これが必要なかどうかということ、いろんなことで意見は出されてると思うんですよ。で、それに対して、本当に真剣に向き合っていていただいているのかどうかと。もう必要、3・4・11は必要で、見直しは考えてないというそのこの、固い意志の下に、私たちの意見は無視してるんじゃないかと、いうことをすごく感じておりますので、このへんは、この見直しが、必要だということが、権限のあるところが来ていただきまして、もう一度話を最初から戻していただきたいというふうに思っております。よろしくお願いします。(拍手)</p>
今泉課長代理	<p>見直し、廃止の意見。</p>

発言者	発言内容
徳差専門課長	見直しについては先ほど来言ってるんですけども、考えてございませし、それから、この特に3・4・11号線の南北の路線については、ちょっと冒頭私のスライドつくって多少説明させていただいたところもあるんですけども、前後区間、道路整備が進んできております。で、ミッシングリンクとして残されてるといふところもありますので。
参加者	残されてない、別に。
参加者	それは違う。
徳差専門課長	そういったところでこの縦の路線は、つなげていく必要性があるというふうに。
参加者	勝手に判断しないでください。
徳差専門課長	私どもは考えてるわけです。
参加者	それは都の意見なの。
参加者	都の意見なの、それは。
今泉課長代理	すみません、ちょっと御発言で、そうしますと、3番目の（参加者）さんでよろしいですか。
参加者	はい。（参加者）と申します。私は昭和38年から二枚橋の坂の下から3軒目に住んでおります。15の冬に来て、で、もう、70歳なんですけども。その二枚橋の坂という道がありますね。都道。NHKテレビでも、「ご近所の底力」という特番やったんですよ。で、あそこの、そうそう、これこれ。ここの、ここに私住んでんですよ。もう55年間ですわ苦しんできたんですよ、私は。ですから私は賛成なんですよ。この道路つくっていただくことに、賛成。ですから、本当大変。知事が来られてここも見る。ね。当然野川公園も見られるんでしょうけれども、そういうところを見て、判断されると思うんですけど、私は、つくっていただきたい。というのは、ですから、防災の面もありますし、これ書いてあった、生活道路ですか、これ私の前の家が生活道路。あそこ二枚橋の坂なんですよ、私。ですから近隣のね、この二枚橋の坂に住んでる人の生活を考えたときには、是非つくってもらいたい。というのが、私の考えですんで、頑張っていたきたいと、建設局には。以上です。
今泉課長代理	優先整備路線ということで、我らも、一つ一つ丁寧に対応しながらですね、環境に配慮しながら、整備っていうことを。
参加者	もう、いいよ、もう。

発言者	発言内容
今泉代理	<p>考えていきたいんですけども、やはり貴重な自然もあるということで、それへの配慮等についてですね、是非皆さんとも意見交換会を重ねていきたいというふうには考えてございます。</p>
参加者	<p>こんな意見交換会なんてできない。</p>
今泉課長代理	<p>次、すみません。それではですね、まだお話してない（参加者）さん。</p>
参加者	<p>私もですね、地権者の一人です。で、いろいろ先ほどからお話を聞いてますと、やはりいろんな状況が進むにつれて、本当の計画を立てた部署が来てないというのは、何の議論にもならないし、意見交換にもならないというふうに考えます。本当にあなたたちは、そういう責任を負わされて来たんですか。それって、行政の縦割りでどうしようもないじゃないですか。横のプロセスっていうのはないんですかね。どうも私はそういうふうに思われます。本当に先ほどから皆さん出しているように、地権者なんか必死なんですよ。我々、この何も知らされないうちに出てかなくちゃなんないってことは、とんでもない話で、あなた方、一人でもそういう目にあっただけありますかね。本当、憤り感じますよ。どんなことしてでも逆らいますから、私は。本当に分かる方を連れてきてください。みんな納得しないですよ、そうしないと。どうですか、課長さん。局長さんにも言ってくださいよ。はっきり。知事にも言ってくださいよ。言わせてくださいよ。来てもらってくださいよ。そうしないと、我々絶対納得できませんね。以上です。（拍手）</p>
今泉課長代理	<p>知事の現場視察については、状況を見て判断するとおっしゃられてるところでございますので、ございます。</p>
参加者	<p>ずっと状況見てるだけなんですか。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっとお待ちください。じゃあ、先ほどからずっと上げていただいている（参加者）さん。一番前の方です。</p>
参加者	<p>私は非常に素人なので、小金井の市の敷地の中に、この道路ってできるんですよ。だけど、小金井市にはその、都市計画、第四次の整備計画の中に、一定の形で小金井市が参画したということは、さっき御説明伺いましたけども、今の市長は、いわゆるこう、住民無視のそういう計画には、必ずしも賛成していない。市議会も全員一致で、そういう乱暴な進め方という決議をしてるわけですね。だけど、今日もう9時がこようとしておりますが、あらゆる質問に対して、これは東京都が決めることなんだからという立場を一貫して崩してくれないんですよ。</p> <p>で、私はやっぱり一点聞きたいのは、皆さんはその、こういう言葉使うと、官僚って言うと怒られちゃうかもしれないし、役人さんて言うと怒られるかも。政治家ではいら</p>

発言者	発言内容
	<p>っしやいせんけども、やっぱり住民自治というのは、あるんですよ。私たち一人一人に、権利があるんです。このことについて、たまたま建設局のお仕事をなさってるお一人お一人として、住民自治、小金井の市民としての、この権利って言うんですかね。こういうことについて、どのようにこの見解をお持ちなんですか。それともそういうことは、俺たちの立場では言えないとか、関係ないというふうに思われておられるのか。小池知事には、本当にぶつけたいと思うんですけども、やっぱり、必死になってみんながいろんな、賛成の方ももちろんあります。本当に、大きく3つ提案されている、これをつくるにあたっての必要性のこのテーマですよ。こういうことも含めて、小金井市の市民が、やっぱり検討して、言ってるこの、そういうことっていうのは基本的に無視されてる。やっぱり、計画があるから仕方がないんだ。住民自治をばかにしないでほしいというふうに思っております。(拍手)</p> <p>私は、その立場で、これからも、私は地権者ではありませんけども、やっぱり、勝手に東京都が決めるなよというのが、正直な気持ちでございます。もし、一人のお仕事をなさってる方としての御意見があるのであれば、聞かせてください。住民自治について、どうお考えですか。</p>
参加者	返事がない。
参加者	すいませんけど、その絵は消してください。目障りです。何のために掲げてるの。
今泉課長代理	先ほどのちょっと御意見のところ、参考に、掲載させていただきました。ちょっとお待ちください。
徳差専門課長	明確にですね、見解が述べられませんので、御意見として承らさせていただきたいと思っております。
今泉課長代理	ちょっと、お待ちください。それではですね、まだ。(参加者)さん、よろしいですか。
参加者	ここまでのお話を伺っているとですね、これ徳差さんに明確に聞きたいんですけど、意見交換というのは、設計の微調整に限定した意見だけ聞いて、そもそもの是非に関わる意見交換は必要ないと、こういう見解ですね。それ以外に、考えられないですけどね。それでいいってことですね。徳差さんの意見。
徳差専門課長	設計の微調整ってのは、ちょっと。そこはちょっと違うと思うんですけども、ただそもそも論からって議論は、前回からもありましたけども、そこのところはないというところで、あくまでも環境への配慮、景観への配慮、そういったところですね、進めていきたいというふうに考えてるわけなんですけども。
参加者	じゃあまるで最初からこの会の目的は、示してある通りですみたいなことをおっしゃ

発言者	発言内容
	<p>ってますけども、全く示されてないですから、それは。そういう姑息なごまかしをしてるようではね、全くこの会の目的というのが、最初からコンセンサスがとれてないですよ。したがって今日もこれ、全然成立してないです。今後も成立しないです、これじゃ。</p> <p>(拍手)</p> <p>で、やっぱりこんなインフラ整備なんていうのは、最低50年、100年先を見据えてですね、しなきゃいけないことであって、是非私も、いったいじゃあその先の、将来の交通量予測とかどんなふうに、シミュレーションして計画してんのかなど。そんなところも是非聞きたいと思います。</p> <p>で、もう時間ですけども、依然として都市整備局のしかるべき役職の方に来ていただいて、是非を含めて議論をします。こういうところは継続の宿題以外あり得ないと思いますので、今日持ち帰ってもらいたいです。(拍手)</p>
今泉課長代理	<p>都市整備局の、今後の出席についても、先ほどの見解のところ徳差が述べたところで、今後も出席しないということは、回答を得ております。</p>
参加者	<p>だからもう一回向き合えばいいじゃない。</p>
参加者	<p>持ち帰れって言ってんだよ。持ち帰れって。</p>
参加者	<p>だからもう一回聞いてほしい。</p>
参加者	<p>あなたたちがもう一回持ち帰って努力すればいいんだよ。そういう熱意が見られないのが、問題なんですよ。何回でもはね返されたら、いってくればいいじゃないですか。矢面に立つのは、あなたたちなんだから。つらいでしょう？ 向こうにもう一度ボールを投げなさいよ。</p>
今泉課長代理	<p>そうしましたら、次、御意見。時間も近づいておりますので、4番目、(参加者)さん、ちょっと御意見まだ頂いてないので。</p>
参加者	<p>景観や、環境への配慮というのは、道路建設そのものが、この景観と環境を壊すことになるじゃないですか。で、それはどのようにお考えなんですか。</p>
参加者	<p>道路の形じゃなくて、つくること自体が。</p>
徳差専門課長	<p>そういうふうには思っておりません。道路整備自体が環境を破壊というふうには、私どもは全く思っておりませんので。</p>
参加者	<p>じゃあちょっと考えてみたらどうでしょうか。</p>

発言者	発言内容
参加者	<p>そうしたら解決しないではない。</p>
今泉課長代理	<p>先ほどからまた、手を。(参加者)さん。2番目の、こちらです。帽子をおかぶりになってる方です。</p>
参加者	<p>今日の目的は、環境に配慮した道路になるのに説明するっていうお話だったんですけど、私、いろんな人からお話を聞いてて、あの自然環境を守る道路なんて、どんな作り方をしても、何かの影響があつて、生態系に影響があつて、都内のいろんなところここう、ここの場所だけじゃなくて、まあ、巻いてるといふか、そういうこ守ってるものが、崩れないような道路をつくることなんて、できないと思ってるんですけども。</p> <p>で、なので、その配慮した道路という、そのなんて言うんですかね、文法自体にすごく違和感があつて、環境を守るためには、つくるっていうことが。つくって守れるんですかというの、その、幾ら説明を拝見しても、ピンとこないんですけども。道路をつくっても、今の環境を破壊しない、配慮といふか、自然環境を配慮ってすごく、ちょっとでも考えたら、配慮みたいな話になるのかなあといふふうに思つて、ちょっとでも緑が残ってれば配慮しましたみたいな話だと、それだと多分生態系は壊されるっていうことですよ、多分。素人だから分かってないんですけど。なので、その、そこがちょっとすごく違和感を感じていますが、いかがお考えですか。</p>
徳差専門課長	<p>配慮っていう言葉ですけども、できるだけ、当然自然環境がある中で、道路をつくと、そこは影響ある部分は必ずあると思つてんですけども、その影響の範囲をですね、できるだけ最小限にとどめていくという必要性はあると思つてまして。だからそのためにも、状況の把握もさせていただきたいっていうことを申し上げたいと思つてるんです。</p> <p>繰り返しになりますが、配慮っていうのが、ちょっと少し、単語としてはなんかあいまいなところあるかもしれないですけども、自然環境、環境への影響を、できるだけ少なくすると。そういうような進め方をしていきたいということです。</p>
今泉課長代理	<p>ちょっと時間も迫ってますので、次。ちょっとお待ちください。先ほどから手を上げられてた、(参加者)さん。</p>
参加者	<p>今初めて上げたんですけど、先ほどから上げてたわけじゃないんですけど、当てていただいてありがとうございます。</p>
今泉課長代理	<p>失礼しました。</p>
参加者	<p>もうおっしゃるように時間も時間で、先ほど開始のところで、最大で延長しても9時までということだったので、もう既に何人の方からかも意見が出てますけれども、前回やった意見交換会も、徳差さんから、まあ大規模な説明会をやるにあたって、これがもう意見交換会として成立しているのかということについては、用意した説明ができてい</p>

発言者	発言内容
	<p>ないから、会としては成立したと考えてないっていうふうに、答弁、ですよね。答弁が出てますよね。で、今回の説明会についても、もう前提が、ここに参加している多くの市民と、そちらが考えている前提というのが、大きく食い違っているので、私はこの意見交換会も成立していないというふうに考えています。で、成立させてはいけないというふうにも思っています。ホームページ、都のそちらの出しているホームページの1回目の意見交換会も、開催しましたっていうタイトルが出ていますので、それだけを見ると、もうやったんだなっていう実績を、ここに参加していない、ここに参加した人たちから話を聞いていない、議事録までわざわざPDFをクリックして、一から十まで全部読み通すっていうことをしない人にとってみれば、開催しましたっていうことだけで、あ、やったんだな、それを踏まえて説明会をやりますって言ったら、あ、説明会をやるんだなっていうふうに受け取られちゃうんですよ。で、そういうことを繰り返して繰り返して、知事が言ったように、丁寧に進めていきました。だから事業を進めていきますっていうふうに、私たちはしてほしくない。少なくとも私はやってほしくないっていうふうに思っています。</p> <p>この意見交換会は、先ほどから、もう1回、都市整備局の出席、それから道路計画の是非について、議論ができる場として、改めて持ち帰ってほしいっていう意見も出ています。改めて私もそれを求めたいというふうに思っています。見解を是非聞かせてください。(拍手)</p> <p>同じ答弁はいりませんよ。</p>
徳差専門課長	同じ答弁になってしまいますけども。
参加者	何、それ。
徳差専門課長	先ほどから言ってるように、そもそも論からの意見交換会は、意見交換というのは考えてございません。
参加者	でも募集段階でそう言ってないじゃないですか。
参加者	そうだよ。なんかだまし討ちみたいじゃん。
参加者	環境に配慮してとは書いてあったけども、すいません。環境について話し合うとは書いてあったけど、絶対にこの道路はつくるから、その上での意見交換会ですっていう募集は、私たちされてませんよね。
参加者	そうだよ。
徳差専門課長	前回ですね、いろいろと御議論あったと。

発言者	発言内容
参加者	前回じゃなくて。
徳差専門課長	御議論あったと、ちょっと聞いてください。あったと思うんですけども、まあ事業ありきの意見交換会かどうかというところが、冒頭あったかと思うんですけども、確かに、言われると事業ありきと、そのときは答えたんですけども、それでまあ紛糾してしまったというところはありませんけども。募集のところには、整備にあたってという形で書いてございます。実はですね。ええ、そうなんです。
参加者	整備にあたってだけでは、その。
徳差専門課長	で、今事業ありきかって言われますと、やはりですね、事業は、着手は考えていきたい。この10年でですね。そういう回答になります。
参加者	意見交換にならないじゃない。
参加者	じゃ、私たちが勘違いして応募しちゃったってことですね。そういうことでしょ。
今泉課長代理	すみません、ちょっと意見交換の募集のところの話になったので、数か月前なのでちょっと改めて、ちょっとお伝えするとですね。 東京都では小金井都市計画道路3・4・11号線の整備にあたっては、環境、景観への配慮について、小金井市内にお住いの皆様に御意見を伺いながら、検討を進めたいと考えています。という募集、参加者募集でございます。
参加者	それはどっちにも取れますよね。
参加者	はい、ちょっと、いいですか。
今泉課長代理	すみません、それで、ちょっと（参加者）さん、お待ちいただけますか。もう時間も迫ってるので、先ほどから申し訳ございません。（参加者）さん、ずっと手を上げられてるので、あの。
参加者	個人的にはですね、40年や50年前ならいざ知らず、もう市民と行政が対立するような時代じゃないと思ってます。正直なところ。
参加者	そうだよ。そうだ、そうだ。
参加者	ただし、今回このやり方、特にこの会の意見交換のやり方、明らかに東京都の方が対立構造つくっちゃってるというふうに、思わざるを得ないんですが、これどういうふうに認識されてますか。

発言者	発言内容
徳差専門課長	対立構造をつくってるとは、思っておりませんけれども。
参加者	じゃあどういうふうに認識されておりますか。
徳差専門課長	前回頂いた、まあ持ち帰った件について、まず我々の、今回については見解を示した上で、募集案内にもあったような形の意見交換会を引き続き続けていきたいということで、臨んでおります。
参加者	だから、住民側の、要望はそれではないというのは理解されてるわけですね。住民側は、都市整備局と対話をしたいというふうに言ってます。その対話を拒否するのは東京都だとしか思えないんですが、いかがですか。
今泉課長代理	対話の拒否ということの表現が正しいかどうかはあれとしまして、都市整備局の参加については考えてないという、これは整備局の見解、先ほどから述べてるところですけども。
参加者	ですから、もしだからその都市整備局が、この道路の計画に妥当性があると、本当に考えてるんなら、都市整備局が来てそれ説明すりゃいいじゃないですか。
参加者	そうそう、出てきて説明してみたら。
参加者	なぜできないんですか。
参加者	お願いします。
参加者	お願いしますよ。
参加者	ちょっといいですか。
今泉課長代理	ちょっと待ってください。
徳差専門課長	それは先ほど少し言ったんですけども、優先整備路線として、選定されまして。
参加者	いや、その理由では納得できないですよ。ていうか、誰も納得してないですよ。そうなんだよ。納得してないのをそのまま動かそうとするからこれ、対立構造つくってるって申し上げてる。 これ、例えば、全部同じようなやり方されるんですか。全て。もう決定したからもう覆りませんという前提で全部やられるわけですか、東京都は。であるならば、たまたま

発言者	発言内容
参加者	<p>今回道路ですけど、仮にこれ道路賛成でも、この進め方は、看過できないですよ、これ。</p> <p>都のやることはみんなそういうふうにするんですか。</p>
徳差専門課長	<p>今回我々がやってる意見交換というのは、多分、少し、これまでとは違う種類のものかなと。それで通常はですね、前回も少し説明させていただいてるところあるんですけども、事業概要及び測量説明会ということで、現地に乗る込むところから始まるわけなんですけども。</p> <p>(会場騒然)</p>
参加者	<p>乗り込むか。</p>
徳差専門課長	<p>そうです。いわゆるそういうところです。測量させてもらう。あるいは事業の概要を説明して、測量させてもらうと。で、測量させていただいて、事業着手するという、そういうプロセスなわけなんですけども、その前段でですね、こういう会を設けさせていただいて、で、特に、自然環境の配慮と、先ほど配慮ということの批判ありましたけども、そういったところについて。</p>
参加者	<p>恩着せがましい。</p>
徳差専門課長	<p>事前にいろんな意見を、交わしながら、それで進めていくということでやってるわけです。</p>
参加者	<p>税金だけ払ってあとは黙っとけてことですか。</p>
参加者	<p>これ、すみません、じゃあそのやり方が要するに標準的なやり方であって、ということですよ。今おっしゃったやり方。</p>
徳差専門課長	<p>そうですね。標準的なやり方は、事業概要及び測量説明会というところを、基点になっていくと。</p>
参加者	<p>特別なやり方をやったのは何でなんですか。特別なやり方をやったっていうのは、なぜやったんですか。</p>
徳差専門課長	<p>特別っていうよりも、あまりやられてないやり方をすると。</p>
参加者	<p>だから、なぜやったんですか、それは。</p>
徳差専門課長	<p>それは、自然環境に危惧する意見が大分出てるという中で。</p>

発言者	発言内容
参加者	パブコメでは反対意見が圧倒的だったからでしょう。無視することができなくなって、こういうようなやり方をとったんじゃないですか。
徳差専門課長	いや、無視するというよりも。
参加者	だったらもっと市民の意見をよく聞きなさいよ。
徳差専門課長	自然環境への影響を危惧する意見が大多数だと思っております、ですからその環境に配慮していくところを、市民の方と意見を交わしながら、事業をする前段です。前の段階で、そういう意見を踏まえながら、検討を進めていくということでやってるわけです。
参加者	すいません。
今泉課長代理	大変申し訳ございません。
参加者	すいません。じゃあですね、要するに全部このやり方でやられると。ということですよ。ね。
今泉課長代理	都市計画道路を。
参加者	今回、基本的に。
今泉課長代理	この意見交換会を、開催しながらやる路線に、全てということでは限ってません。通常はやってないことです。
参加者	もう一つ聞きたいんですけど、であるならば、すみません、今回、意見交換会もこういう形になって、これ成立されたとお考えですか。
今泉課長代理	今回の件ですと、あえて今回は第2回と言わせてもらいますけど、開催はできたけども、意見交換を交わす中で、整備にあたっての意見交換には至らなかったというふうには、認識せざるを得ないと思っております。
参加者	住民側はあくまでも対話を求めています。整備局から是非来ていただきたいです。
参加者	そうすると、3月の説明会ってのはなくなるんですか。
参加者	そこもちょっとお伺いしたいんですけども、この2回の説明会が成立しなかったとし

発言者	発言内容
今泉課長代理	<p>たら、3月に予定される説明会、これどうなりますか。</p> <p>前回、今回、含めまして、こういった状況になってるということを含めて、3月の説明会の中で触れさせていただくようになると思います。</p>
参加者	え、やるの？
参加者	何を、それは、どういうふうに触れられるおつもりですか。これは一体。
今泉課長代理	第1回、第2回で、こういった御意見が出て。
参加者	どういった御意見だよ。
今泉課長代理	都の見解を示したところ、こういう状況であったと。ちょっとここまだ、出ませんけども。
参加者	どういう状況ですか。
参加者	それは何、議事録2回分の議事録を全員に配って、議事録の説明をされるんですか。要するに経過というのは。
徳差専門課長	そういうやり方についてはですね、これから考えるところではありますけども、いずれにしろまあ。
参加者	そうではなくて、一方的に、都が今日説明できなかったことを、3月の説明会でやるということであれば、やり方がおかしいんじゃないですか。
参加者	おかしい。認められない、そんなの。
参加者	<p>東京都の最初の考え方とも違うんじゃないですか。そもそもは、賛成か反対かの問題ではなくて、市民の意見も市議会の意見も無視して、それで第四次決めたところが問題なんでしょう。だから賛成の人もいるし、反対の人もいるけども、そういう声が全然反映されてないんですよ。だから、ね、反対の人ここは多いですけども、反対だけでなく賛成の人も先ほどいましたけども、こういう理由で賛成だっていう人もいますよ。だから賛成の人の意見も、反対の人も聞いて、で、反対の人の意見も賛成の人も聞いて、で、そういう場、そういう上に立って、この道路をどうすんのかと。そういうのをね、今までつくりたくないで決めちゃったからおかしいから、元へ戻ってくれつつつてんですよ。ね。反対の意見だけを言いたいから、我々言ってるわけじゃないですよ。賛成の意見の人がね、たくさんあることも承知してますよ。でね、あそこの二枚橋のどこ</p>

発言者	発言内容
	<p>るで、何とかしてほしいというのは、昔から言われてるわけでしょ。</p> <p>で、あなたたち、これつくり始めて、この道路ね、3・4・11号線というのは、仮に来年度着工したとしても、出来上がるのは40年後でしょ。早くたって30年後でしょ。ね。そうすると、あそこの狭い道路をね、30年、40年ほっぽっておくことになるんですよ。これは前にも言ったんですけども、だからいい加減なね、ことを言わないで、本当に賛成、反対も含めて、どうすればいいのかという議論の場をね、ちゃんとつくってほしいと。賛成の人もいろいろ意見言いたいし、反対の人もいろいろ意見言いたい。だけど決まったから、環境問題だけですみたいな話はないでしょう。そのことをね、ちょっと確認して、意見を聞くような場というのは、都市整備局が来ない限り、話になんないでしょ、つってるわけ。だから3月の説明会というのも、やっても意味がないですから、それは是非中止してほしい。それが1点です。</p> <p>それからもう1点ちょっと、言うことできなかったんですけど、議事録、作っていたでいて感謝してますけども、議事録の最初の案の段階で、全員に配っていただいて、検討してほしいということでね、チェックをする機会を設けていただいたんで、すごい親切なやり方だということで感謝してるんですけども。で、私もそれについて、ここを訂正してほしいということで、主だったところ、重要なところで39項目出したんですよ。で、半分以上入ってないんですね。大事なところが誤解されたような、文字、語句がそのまま、訂正されないでいるんで、私がメールでも文書でも、北南建と建設局両方に送ってますのでね、もう一回チェックして、ちょっと明らかなね、誤り、それはね、もう一回直して、再度訂正の文書を出していただきたいと。誤解されるようなところがね、数多くありますので、よろしくをお願いします。</p>
徳差専門課長	修正を頂いて、直したつもりではあるんですけども。
参加者	直ってないのが多いです。もう一回、あの、自分たちで見たんですか。
徳差専門課長	見ましたよ。音声の確認等もある中で、必ずしもですね、ここ削除してくれとかって意見はきてる、チェックがきてるのは承知してるんですけども、音声聞きますとやっぱり入ってますんで、そういうところはですね、そのまま残したりしておりますので。そういう御意見は。
参加者	もう一回聞いてください。
徳差専門課長	はい。分かりました。
今泉課長代理	その点については。 大変申し訳ございません。
参加者	ちょっと、じゃあ最後の締め方だけ、確認だけはちょっと、しとかないと。

発言者	発言内容
今泉課長代理	大変申し訳ございません。えっとですね、簡潔に。
参加者	どうやって締めんの、この会をさあ。
参加者	進め方についてちゃんと、ちょっと提案したいんですけど。
今泉課長代理	じゃ、どうぞ、(参加者)さん。
参加者	<p>既に出ている意見をですね、今日もう終わるにあたって、もう一度僕ら、参加者の方の意思を、きちっとやっぱし確認して、それを持ち帰っていただきたいというふうに思うんですね。</p> <p>で、その一つはやっぱし、整備局に出てきていただいて、対話の場を持つ。そして意見交換をする。そのようなことを、もし参加されてる僕らの方で、拍手多数であれば、それをきちっと持ち帰ってほしいというのが一つと。あと、実りある、そういう意見交換会ができるまでは、その説明会というのは延期してもらいたいというのが、多数の要望だったら、それも拍手で確認して、きちっと持ち帰っていただきたい。少なくともその2点は、今日の参加者一同になるのかどうか分かりませんが、多くの参加者の確認事項として、ちゃんと、もちろん議事録にも残してほしいし、整備局なのか、建設局、整備局の上の副知事なのか、小池都知事なのか分かりませんが、必要などころにきっちり、ここの多数の意思として、伝えてほしいというふうに思いますけど、どうでしょうか。(拍手)</p>
徳差専門課長	整備局の参加、都市整備局の参加は少なくとも、もうあり得ないと思ってます。それは前回確認しておりまして、それを今日もお伝えしております通り。
参加者	もう一回持ち帰れって言ってんだらう。
参加者	持ち帰れ。
徳差専門課長	だからそれをまた持ち帰るつもりはございません。
参加者	納得できなかったという意味は。
徳差専門課長	それは前回持ち帰って、中で確認してますので、それを再度ですね、ということはありません。
参加者	それが出るまで何度もやるんですよ。

発言者	発言内容
参加者	何度もやるんですよ、何度も。
参加者	それで住民が納得してないんだから。
参加者	そうですよ。
参加者	住民要望なんだから、何度も持ち帰るのよ。はね返されたって、何度も持ち帰るの。
参加者	そうそう。最初にあんな汚いやり方で、駄目だよ。そもそも。というか、おかしいよ。
参加者	何のための意見交換会か分からないじゃないですか。
参加者	紛糾するだけですよ。
参加者	とにかく持ち帰って、これじゃあ成立しないよ。都市整備局、ここに呼んできてくださいよ。
参加者	縦型になってるのは、そっちの都合で縦型にしてるだけでしょう。
参加者	そうだよ。私たちは、納得してないです。
参加者	住民側はどうしても納得しないと。じゃあ困ったって。持ち帰って相談すればいいじゃない。
今泉課長代理	先ほど、御意見あった都市整備局の参加については、言って、繰り返しになってしまうので、あえて私からもう述べませんが、参加者の多くの意見を頂いたということは、持ち帰ります。それから、次の3月の説明会ですけども、今3月末に予定してる場所なんですけど、これは開催させていただきたい方向ですと、いうことで、お答えしますけども。これも、1点目と同じで、多くの意見があったということは、持ち帰って、したいと思います。
参加者	意見があったんじゃないくて、紛糾したんでしょう。炎上したんでしょう。そのくらい言わなかったら駄目ですよ。
参加者	何のために意見交換会をやるんですか。その大人数に。何のためにやるんですか。
今泉課長代理	3月末に予定してます説明会なんですけども、当然、意見交換を目的としていますが、参加者を限定しない方法で、意見交換の内容を広く情報提供するということと。

発言者	発言内容
参加者	今、意見交換できてません、私たちは。
今泉課長代理	参加していただいた方の意見交換を行いたいというふうに考えてます。
参加者	大人数でどうやって意見交換するんですか。この人数で私たち意見交換全然できてませんよ。そう思いませんか。
参加者	そうだそうだ。
参加者	そうだよね。
参加者	私たちの意見聞いて、こないだも、いっぱい散々言いました、私たち。それに対する、納得する回答を一つもないです。ああ、建設局も、考えてきてくれたんだなって思うことが一つもないです。もうちょっと考えてきてくれると思ってました。都市整備局の人と話して、これこれこうだったとか、そういうことをもうちょっと言ってくれるんだと思ってました。全く、私たちの主張、意見、全然聞いてもらってない感じがします。今日、2回やって、全部そうです。それで体育館で、やって、やりましたって言うんですか。
徳差専門課長	やらせていただきたいと思っております。この2回の意見交換会は、まあ、不成立ということ、皆様方は言うておりますけども、この状況の報告はですね、させていただいた上で、参加されてる大勢の方々とも、意見を交わしたいというふうに考えております。
参加者	整備局に対してしなきゃいけないだよ。
参加者	紛糾しますよ。大混乱になりますよ。
参加者	そんなの認められません。
参加者	大変ですよ。建設局の責任にもなりますよ。
参加者	今日、こちらから投げたものを、全部打ち返してますよね。すごい、速攻で打ち返してますよね。投げたボールを一回キャッチするなんてこと、してませんよね。そういうのを意見交換会って言わないんじゃないですかね。
参加者	成立していない。
参加者	現に説明に入れてないでしょうよ。

発言者	発言内容
参加者	ガス抜きにもなってないですよ。もうガス、溜まりっぱなしです。ガス抜きだったらね、もうちょっと受け止めたふりするのがガス抜きですよ。そう思いませんか。
徳差専門課長	繰り返しになりますけども、前回そういう形で受けて、帰ってきました。戻りまして、内部確認をして、今日はお示しさせていただいたといったところになります。
参加者	私たちがばかにしてますよ。その態度。
参加者	だから一回ぐらいであきらめないで、もうちょっと頑張りましょうよ。
参加者	あきらめたら始まらないよ。
参加者	ガキの使いじゃあるまいし。
参加者	<p>こんな会、無意味です。私たち9月にこの会がやるって聞いて、ずっと働きかけてきました。傍聴を求めたり、インターネット中継をしてほしいと言ったり、公園整備の方にも、公園管理事務所の方にお知らせしてほしいとお願いしたりしました。公園の利用者も、全く知らないんです、この計画のことを。全然、お知らせもしてません。私たち、こんな少人数で、集まって、意味のある意見交換をしたいっていう気持ちが少しでもあるんだったら、もうちょっとまともに対応してください。誠実さが全然感じません。</p> <p>(拍手)</p>
参加者	そうだ。
今泉課長代理	御意見賜りました。大変申し訳ございません。ちょっと、21時ということを最初、冒頭お伝えしたとこなんですけども、それを過ぎてしまいまして。で、ここでちょっと、まあ、今後の予定を先ほどと繰り返しになってしまいますけども、これまでの第1回、本日第2回とする意見交換の内容を踏まえて、3月の説明会については、この状況報告、意見交換を実施したいと考えてございます。
参加者	さっきの拍手に対しての、判断はどういうふうにされるんですか。
今泉課長代理	これを持ち帰りまして、判断したいと思います。
参加者	我々がやりたいと言えはいんじゃないですか、それは。参加者が、さっき言った提案を受け入れて。
今泉課長代理	先ほど、大多数の方の、説明会を見送るという御意見を頂いたということは持ち帰りまして、今、都として考え。

発言者	発言内容
参加者	あとで確認するということが、できるの。
今泉課長代理	今は、3月末については、開催したいというふうに考えてございます。
参加者	持ち帰りもしないんですか。
今泉課長代理	頂いた大多数の御意見としては、持ち帰ります。
参加者	<p>結局、パブコメと一緒にですね。御意見くださいと言って、私たちが一生懸命、意見を言って、意見を承りました、その意見をどうするんでしょうか。</p> <p>意見賜りました。それだけじゃ、私たちこんな寒い中、ここに集まってるんですか。結論が変わらないのに、人に意見出させてどうするんですか。</p>
参加者	そうだ。
今泉課長代理	繰り返しになってしまうかもしれないですけど、この場で3月末の説明会を見送るということは、考えてございませんので。
参加者	いや、だから持ち帰って検討する。
参加者	考えてみたらいいじゃないですか。
今泉課長代理	で、先ほど。
参加者	意見交換会でも何でもないじゃないですか。ただの説明会じゃないですか。
今泉課長代理	多くの意見、多くの方から、説明会を見送ることについての御意見を頂いたということは、持ち帰ります。
参加者	そんなの持ち帰りじゃないよ。
参加者	持ち帰りじゃない。持ち帰って考えてくれる感じ、全然しません。
参加者	見直し、廃止とかいうのはね、整備局の権限だっけのはもう、縦割りで、いい悪いじゃなくて事実としてそうなんでしょうけども、説明会をするかしないかは、建設局が判断できることなんですよ。延期すればいいじゃないですか。溝を深めるようなことをね、あえてやる必要ないじゃないですか。もうちょっと先送りにすればいいじゃないですか。この関係がよくなってから、もう一回考えるよっていうふうに、何で返事できないん

発言者	発言内容
徳差専門課長	<p>ですか、建設局。自分らのことじゃないですか。絶対これで突破して工事したって、混乱するだけですよ。</p> <p>繰り返しになるんですけども、そういう、御意見として持ち帰らせていただきますが、現時点では、そもそもこの50名じゃ足りないという、意見交換会としてはどうかという、そういうお話もあったように記憶してるんですけども、その拡大版という形を、私どもは考えておまして、そういう形で、説明会という、の開催をですね。</p>
参加者	<p>ここで意見交換にならない。</p>
参加者	<p>混乱も拡大するだけ。</p>
徳差専門課長	<p>ええ。説明会という名前が適切かどうかというのはありますけども。</p>
参加者	<p>混乱も拡大するよ。</p>
徳差専門課長	<p>ええ。そのつもりは全くありませんけども、そういう形で、現時点では3月に、一応予定はさせていただきたいというふうに考えております。</p>
参加者	<p>小金井市議会からも説明会は日程ありきじゃなくてっていうふうに、意見、要望出ますよね。回答は、東京都からもらっていないみたいですけど。出ますよね。</p>
今泉課長代理	<p>ええ。頂いております、御回答申し上げます。</p>
参加者	<p>そういうのも、全く無視されちゃうわけですか。</p>
参加者	<p>回答してんの？</p>
今泉課長代理	<p>小金井市には、回答しております。</p>
参加者	<p>いつやったんですか。</p>
参加者	<p>いつしました？</p>
参加者	<p>回答期限は18日で、建設環境委員会って確か22日ですよ。そのときに、もらっていないというふうに答弁が出てるんですよ。YouTube見てくださいよ。</p>
今泉課長代理	<p>存じ上げてます。</p>

発言者	発言内容
参加者	そのあとですか。
今泉課長代理	回答希望日ということで承ってますが、回答できたのが24日だと記憶してます。
参加者	何で希望日が18なのに、24まで延ばすんですかね。だって27日ですよ。十分に日程ありますよね。回答するまでに。年末年始挟んだとして、閉庁期間が6日間あったとして。
今泉課長代理	希望日は確かに承ってまして、決して延ばした。
参加者	それって小金井市議会のことも、軽んじてるってということですか。
今泉課長代理	決して、その、日があるから回答を24日にしたということではございません。
参加者	結果的にはそうだろうよ。
参加者	結果的にはそういうことになってますよね、でも。
今泉課長代理	結果的にはそうなたかもしれないです。
参加者	こういう日程を見込んで18日希望にしてるのに、それを延ばしちゃったわけですよ ね。
今泉課長代理	結果的に延びたということ。
参加者	説明会も延ばしましょうよ。だったら。(拍手)
参加者	そうだよ。
参加者	ここで意見交換はされてないです。
参加者	年度内にわざわざやるな。
参加者	自分たちのところが判断すればいいだけのことじゃないですか。
参加者	自分たちは都合のいいようにやって、住民はさ。
参加者	自分に甘く。

発言者	発言内容
参加者	意見を聞きませんというか、持ち帰ることもできないなんてさ、こんなダブルスタンダードないよ。
参加者	<p>本当に今日、意見交換会、(参加者)さんが自然に配慮、自然のことをすごくいいお話をしてくださいましたよね。それが本当は皆さんが求めていることなんですよ。だから、冷静に話すと言って話して下さったのに、それに対して梅津さんは、バーンてはね返してきましたよね。いやいや私たちこういうふうを考えてますから、大丈夫ですからって。反省してもらえますか。こんなの意見交換じゃないんですよ。だから私たちが投げたものに対して、ただその場で即はね返してきてるでしょ。じゃ、何のために私たち話す必要があるんですか。</p> <p>今回こういう意見交換会だってことは、私たちにも、できる限りもう、あらん限りの手を尽くして、市民には周知しますよ、これから。その上で説明会ですよ。</p> <p>本当に今日、いろいろ持ち帰っていただけましたけど、反省もしてください。反省です。反省持ち帰ってください。私たちの出した意見を、受け止めてないんです、何も。もう、即はね返してるんです。受け止めないで、バシンて叩き返してるんですよ。分かっています？</p> <p>あのさっきのいろんな断層の説明とか、あんなの、(参加者)さんが言った途端に言うなんて、あり得ませんよ。何にも、せつかく環境に配慮した話してくれてるのに。だから今日の意見交換会は成立してないっていう話になっちゃうんじゃないですか。</p>
参加者	3月に開いてもこれよりも酷くなるだけですよ。
参加者	<p>成立させたかったんだったら、あそこで本当にじっくり話を聞いて、受け止めなきゃ。受け止めてないじゃないですか。</p> <p>だったらもう何の話が出たって一緒ですよ。</p>
今泉課長代理	大変申し訳ございません。ちょっと、やはり、ちょっとこの会場のお返しする時間も迫ってますので。何点かの、この場で都市整備局の参加、3月の説明会を見送るということについては多くの方の御意見を頂きまして、それについては、持ち帰ってまいります。
参加者	持ち帰るの？
今泉課長代理	はい。で、その上で。
参加者	検討するの？ 持ち帰って検討するの？
今泉課長代理	その上で。

発言者	発言内容
参加者	持ち帰るだけなら猿でもできるぞ。
今泉課長代理	その上でですね、内部で、報告等も必要になると思われますので、判断を仰ぎたいと思いますので、この場ではちょっと。
参加者	今回と同じように、この場で説明しますからっていうふうに事前にお知らせがないっていうのもなしですよ。第1回持ち帰った事項を聞きたいんだったら、第2回に来てくださいみたいなそういう、あのね、餌まいて釣るようなやり方やめてください。
今泉課長代理	そういった御意見もあったというふうに、記録に残せると思っていますので、で、何度も繰り返しになって恐縮でございますが、大変申し訳ございません。ちょっと時間も過ぎておまして、あえてこの場では第2回と申し上げさせていただきますけども。
参加者	今回のでいいじゃん。
参加者	第2回なんてのは。
参加者	第2回じゃないよ。
今泉課長代理	今回の意見交換会については、これで終了させていただきたいと思います。
参加者	次は。
今泉課長代理	本日は、長時間にわたり、どうもありがとうございました。(拍手)
参加者	締め切れないよ。
今泉課長代理	時間を過ぎまして、申し訳ございません。
以 上	